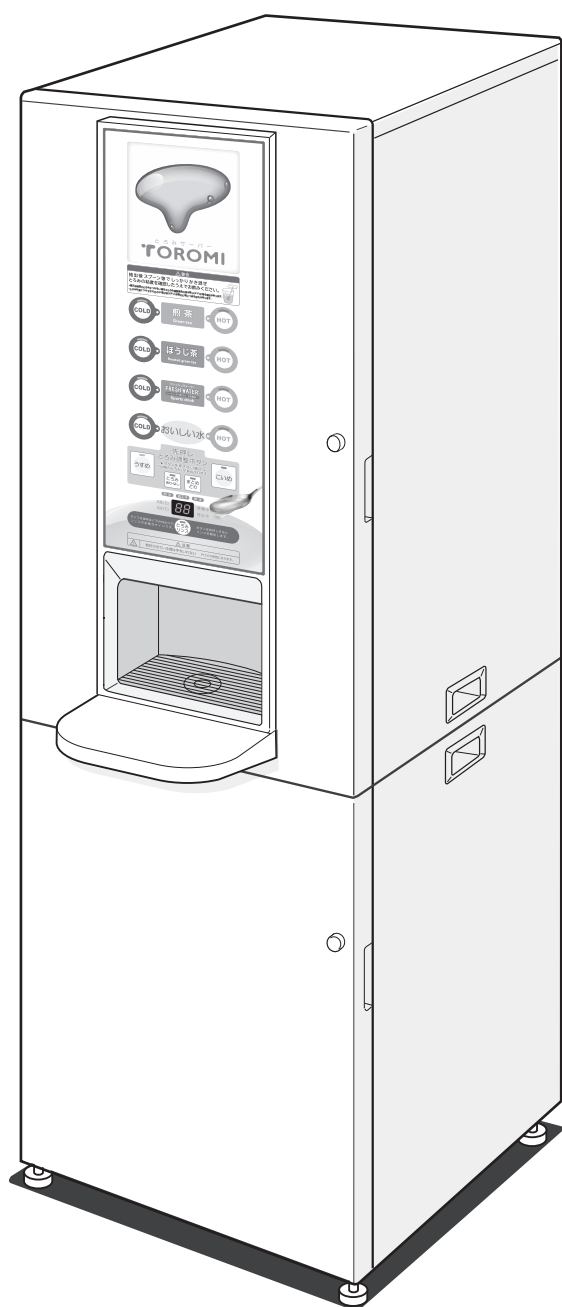


とろみサーバー 取扱説明書

形 名

HTC-1046LTR



もくじ

安全上のご注意	1～4
各部のなまえとはたらき	5～7
据付工事	8～13
はじめてご使用になる前に	14
冷却用タンクに給水する	14
製品に給水する	14
排水する	14
お願い	15
原料の入れかた	15
コントローラーの使いかた	16～37
コントローラーで設定できる機能	16
かんたん初期設定	17
メニューキーの機能一覧	18～20
原料の種類・基準値を設定する	21
各飲料ボタンの抽出条件(湯水原料量/温度)を設定する	22
カップサイズを一括で設定する	23
累計の抽出回数を見る	23
浄水器の交換時期を設定する	24
冷却用タンクの水の交換時期を設定する	25
週間予約を設定する	26
休日予約を設定する	27
リンスをする	28～29
とろみ水の抽出路のリンス条件を設定する	30
定期的に沸騰させる	31
現在時刻を合わせる	32
お手入れ時間をお知らせする	32
休止や故障の履歴を見る	33
給水方式を設定する	33
動作音を設定する	34
お湯の沸き上げ温度を設定する	34
とろみボタン、まともどりボタンの待機状態を設定する	35
とろみ水と粉末飲料の抽出順序を設定する	35
まともどりの量(杯数)を設定する	36
適温になっていないが抽出する	37
運転モードを切り替える	37
お手入れ	38～41
別売部品	42
修理サービスを依頼する前に	43
仕様	44
保証とアフターサービス	44
長期使用製品の安全に関するお願い	45

- このたびはとろみサーバーをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

据え付け工事の完了後は、試運転をおこない異常がないことを確認してください。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表 示	表示の意味
 警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（＊１）を負うことが想定されること” を示します。
 注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、物的損害（＊３）の発生が想定されること” を示します。

＊１：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁 止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指 示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注 意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますのでご確認ください。

もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

【免責事項】

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

警告

据付・配管・電気工事は関連する法規や地方条例と、この取扱説明書に従う
工事に不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。



指 示

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

アース（接地）の取り付けをする

電気設備技術基準および内線規定に従った、D種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、アース線を確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを確認してください。

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。

故障・漏電したときに感電する原因になります。



アースの接続

サーバー本体の近くの操作のしやすいところに、専用止水栓を設ける

水漏れのと、専用止水栓がないと拡大被害の原因となります。



専用止水栓を設ける

給水配管はステンレス管や合成樹脂内面処理管など、法規や地方条例に適合した材質を使用する

ゴムやビニールのホースを使用すると、水圧により破裂し水漏れの原因になります。



指 示

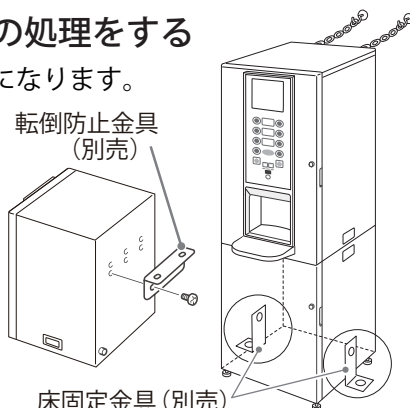
地震などによる転倒防止の処理をする

振動により転倒し、けがの原因になります。

転倒防止

事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、別売の転倒防止金具を使用して、壁や柱に固定してください。

部品はお買い上げの販売店に、ご相談ください。



本体と置台の連結

置台に付属の取付金具（3枚）で本体と置台を連結してください。

置台の転倒防止

置台を使用する場合は、グラグラしないように置台の高さ調節脚で高さを調整し、別売の床固定金具を使用して、床に固定してください。部品はお買い上げの販売店にご相談ください。



転倒防止

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

故障のまま使用すると漏電のとき感電する原因になります。

漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。



動作の確認

異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する

異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。



電源プラグを抜く

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、
電源プラグを吹き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

部品の取り付け、取りはずし、およびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指 示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

原料容器棚に手を触れない

原料の防湿のため高温になっており、やけどをする原因になります。



接触禁止

飲料抽出動作中は、飲料抽出口に手を入れたり、機構部に手を触れない

やけどやけがをする原因になります。



接触禁止

湯タンクヒーターを通電させずにご使用になるときは、お買い上げの販売店に依頼し、
必ず湯タンク内の湯を排水してください

再度、湯タンクヒーターを通電させるときは、必ず湯タンク内を洗浄してください

衛生上の問題や故障の原因になります。



衛生注意

とろみ飲料はとろみの粘度を確認してから飲む

適正な粘度のとろみが見つからない場合やとろみ調整食品の溶け残り（ダマ）が残る場合があります。
とろみを強くつけすぎたものや溶け残り（ダマ）を飲むと喉につまる恐れがあります。



とろみ粘度確認

取扱いを熟知した医療・介護従事者の指導に従い使用する

飲用されるかたの嚥下機能度合いによって、適正な粘度のとろみが異なります。
飲用されるかたに合わない粘度のとろみを飲むと喉につまる恐れがあります。



指 示

⚠ 注意

ガス類や引火物の近くに設置しない(本体の近くにガス類や引火物を置かない)

発火の原因になります。



引火物禁止

配管水路にストレーナーを設ける

お茶いれ機本体に異物が侵入し、水漏れや故障の原因になります。



ストレーナーの設置

給水水圧は0.1～0.75MPaの間で使用する

水圧が高いとき、減圧弁を使用しないと、水漏れや故障の原因になります。



減圧弁を使用

配管接続部は確実に接続する

確実に接続しないと、水漏れの原因になります。



接続確認

排水ホースは直接排水口に導く(直接排水式の場合)

水漏れのととき拡大被害の原因になります。



直接排水

工事作業中は手袋を着用する

金属端面などによるけがを防ぎます。



手袋を着用

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く

感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

月に一度は電源プラグ部分を点検する

電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

本体上に重量物を置かない

扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

カップ置台の上に乗ったり、重いものを載せない

カップ置台が破損し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

本体上に水を入れた容器を置かない

水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



上乗せ禁止

水道法の水質基準に適合する水を使用する

お湯(30℃以上)や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指 示

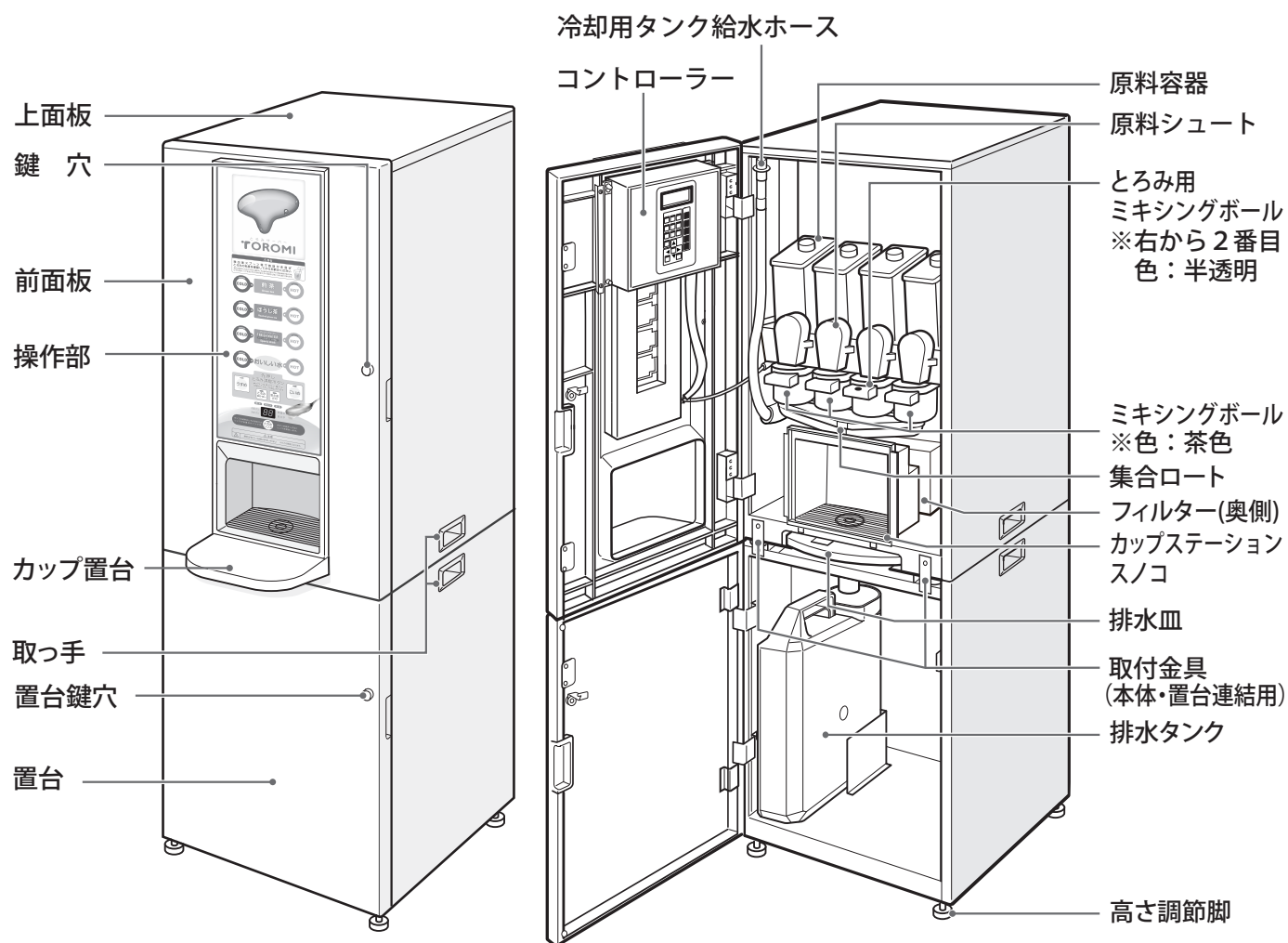
スパウトヒーター(原料防湿用)を通電させずにご使用になるときは、お買い上げの販売店に依頼してください

使用原料の種類や設置場所の環境(室温、湿度等)によって原料が固着する場合があります。

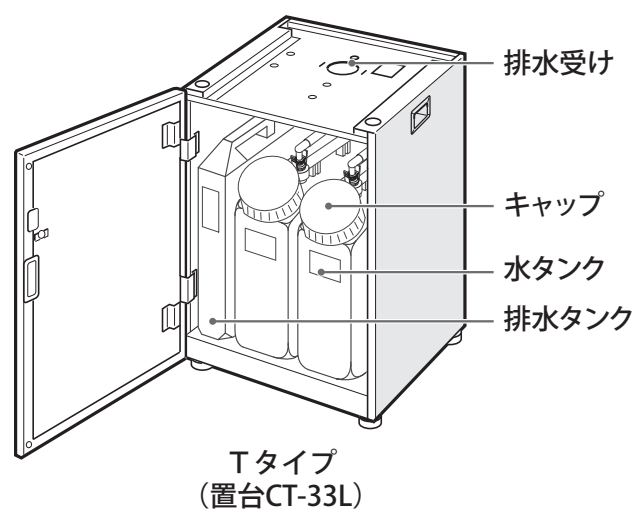
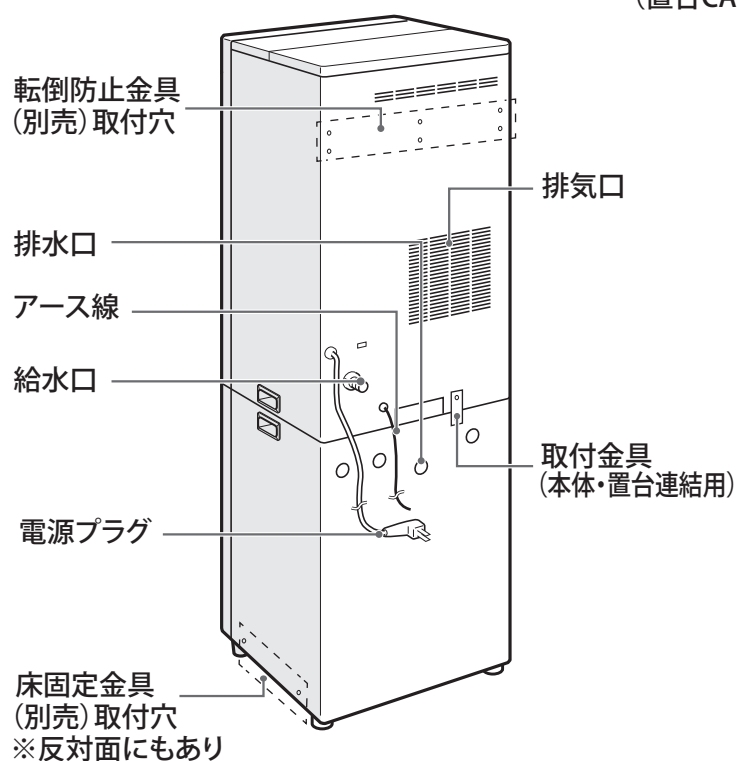


指 示

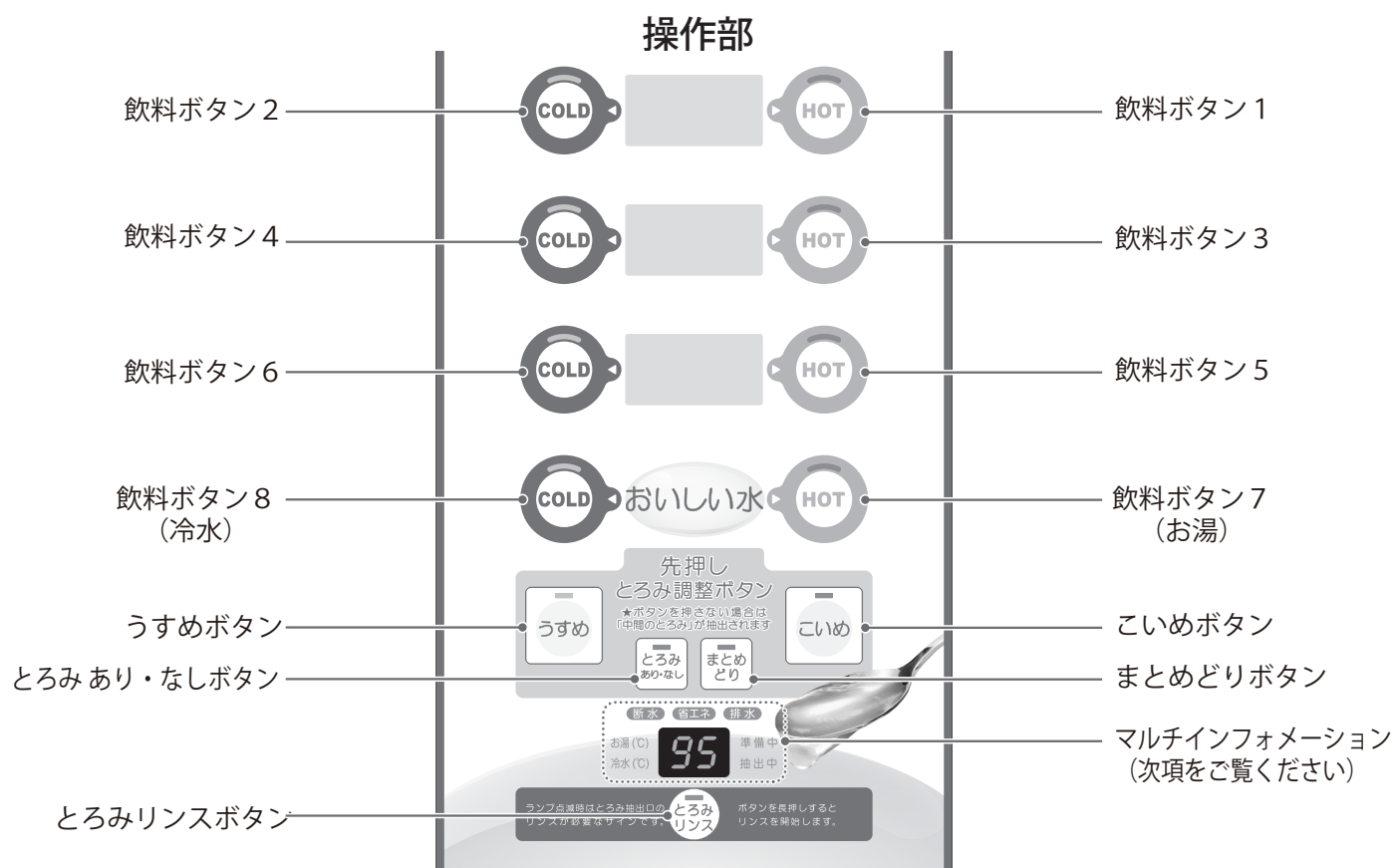
各部のなまえとはたらき



P Bタイプ
(置台CAT-10L + 排水容器キット OKT-11L)



Tタイプ
(置台CT-33L)



飲料ボタンとボタンランプ



- ・ボタンランプが点灯している飲料ボタンを押すと抽出することができます。抽出中はボタンランプが点滅します。
- 安全ロック動作を設定している場合は、各飲料ボタンランプが消灯しています。各飲料ボタンを長押しするとロックが解除され、ボタンランプが点灯し飲料の抽出ができます。
- ・ボタンランプが全て点滅しているときはリンス中です。リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。

とろみ調整 <飲料ボタンを押す前に設定します>

●とろみの粘度を調整する



- ・ボタンを押さないときは『中間のとろみ』、『こいめ』ボタンを押すとランプが点灯し『濃いとろみ』、『うすめ』ボタンを押すとランプが点灯し『薄いとろみ』が抽出されます。もう一度ボタンを押すとランプが消灯しキャンセルできます。

●とろみの有無を選択する



- ・「とろみあり・なし」ボタンを押してとろみの有無を選択します。ランプが点灯しているときは『とろみあり』、ランプが消灯しているときは『とろみなし』で抽出されます。

●一杯取り、まとめ取りを選択する



- ・「まとめどり」ボタンを押して一杯量の抽出かまとめ量の抽出かを選択します。ランプが点灯しているときは『まとめ量』、ランプが消灯しているときは『一杯量』で抽出されます。

●とろみ水の抽出路をリンスする



- ・とろみ水の抽出路は、とろみ剤が付着しやすいので定期的にはリンスが必要です。ランプが点滅したら「とろみリンス」ボタンを長押ししてリンスをしてください。



飲料抽出中、リンス動作中は飲料抽出口に手を入れない
やけどの原因になります。



接触禁止

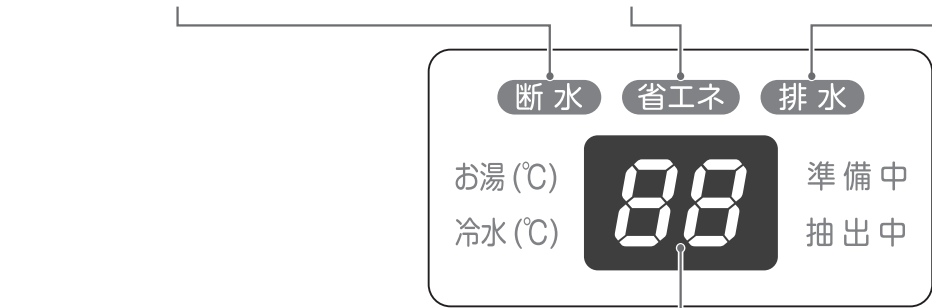
各部のなまえとはたらき (つづき)

マルチインフォメーション

断水ランプ
正常な状態では消灯しています。
断水になると点滅します。

省エネランプ
学習省エネ運転中、エコモード運転中、
週刊予約動作中に点灯します。

排水ランプ
正常な状態では消灯しています。
置台の排水タンクが満水になると点滅します。

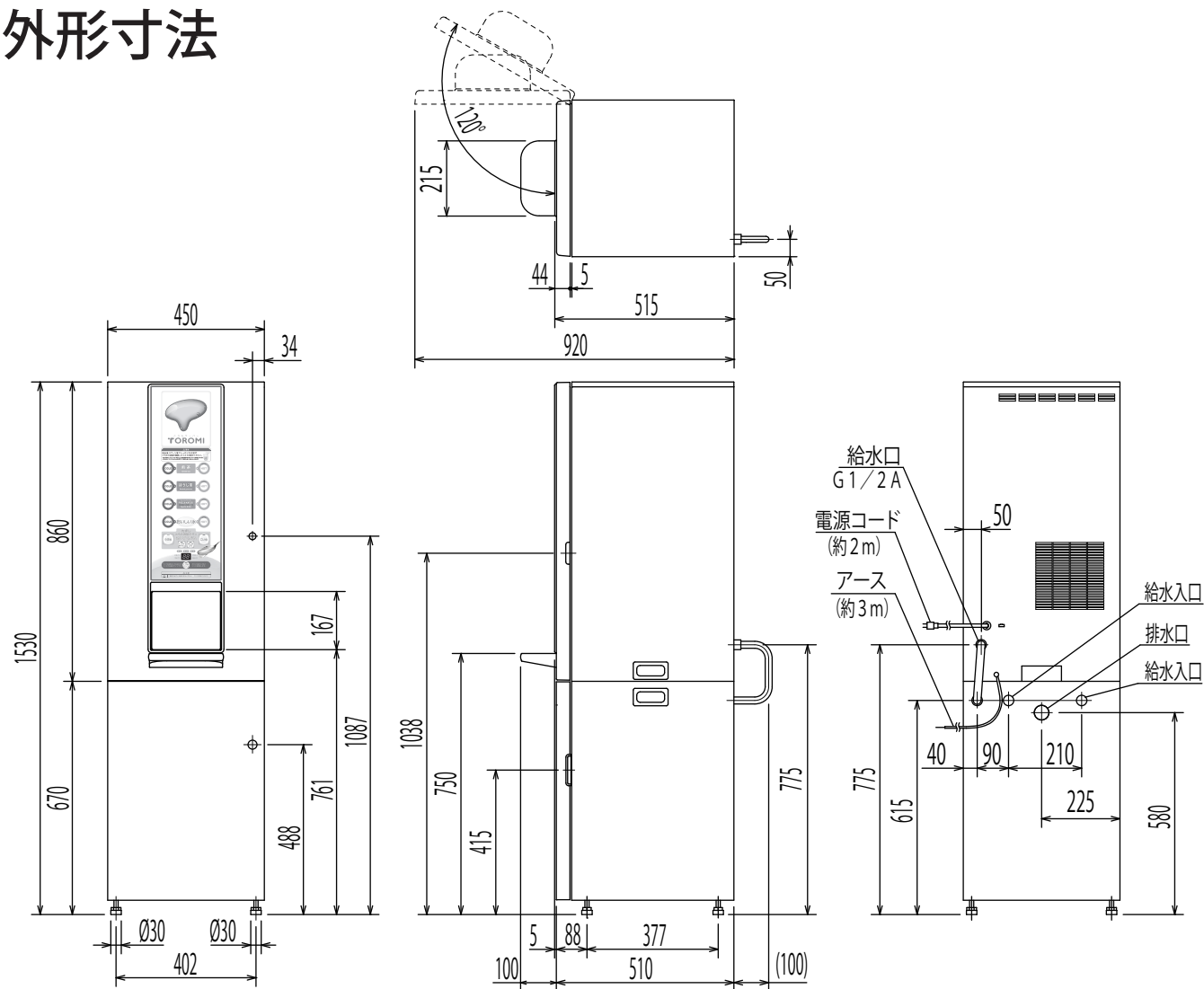


デジタル表示

- お湯温度、冷水温度を交互に表示します。
- 沸騰動作中は、お湯の温度を表示します。
- 飲料抽出中は、抽出終了時間をカウントダウンします。
(カウントダウン時間は目安としてお使いください。)
- 故障時は右表の故障メッセージが表示されます。

F0 (F0)	水センサー開放	F7 (F7)	漏 水
F1 (F1)	水センサー短絡	F8 (F8)	電池異常
F2 (F2)	IBC センサー異常	F9 (F9)	コイン信号異常
F3 (F3)	冷水機異常	FA (FA)	時計異常
F4 (F4)	湯センサー開放	Fb (Fb)	メモリー異常
F5 (F5)	湯センサー短絡	Fd (Fd)	ディストリビューター異常
F6 (F6)	加温異常	FF (FF)	基板間通信異常

外形寸法



据付工事

(つづく)

輸送のためのテープや保護パッキン類を取りはずす

内部などの包装材や、固定用の接着テープが付着していないか確認します。

⚠ 注意

解梱後、運搬するときは商品側面の取っ手部を持つ

前面板はプラスチック製です。前面板を持つと変形や割れる原因になります。

商品の上に乗らない

商品が変形する原因になります。

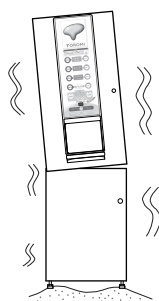


指 示

設置環境と据付工事

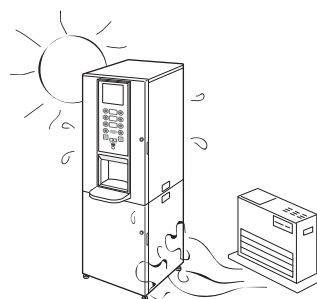
床は丈夫で平坦な場所に
据えつける

床が傾いていたり不安定な場所では、
転倒したり振動や騒音の原因になり
ます。



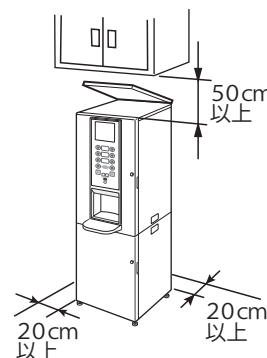
直射日光の当たる場所や、
熱器具のそばに据え付けない

冷水機の冷却効果が低下したり、
過熱し故障の原因になります。



風通しがよく保守や修理サービスの容易な
ところに据え付ける

必ず両側面と後面は20cm以上の隙間を開けてください。
スペースを開けないと換気効率が悪くなったり、扉をあけたとき
物に当たったりします。また、上側は修理サービスのときに、
上面板が開けられるように50cm以上空間を開けてください。

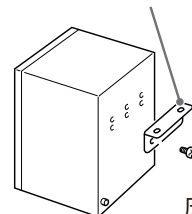


本体と置台の連結と転倒防止処理をする

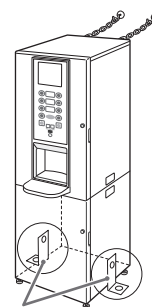
置台に付属の取付金具（3枚）で本体と置台を連結してください。
事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、別売の
転倒防止金具、床固定金具を使用し、壁や柱および床に
固定してください。

部品はお買い上げの販売店に、ご相談ください。

転倒防止金具（別売）



床固定金具
（別売）



⚠ 警告

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない
漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

地震などによる転倒防止の処置をする

振動により転倒し、けがの原因になります。



転倒防止

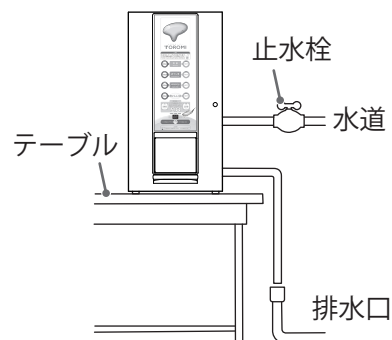
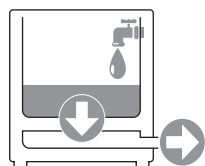
据付工事 (つづき)

給水排水方式について

据付場所や給水・排水の方法により4つのタイプがあります。

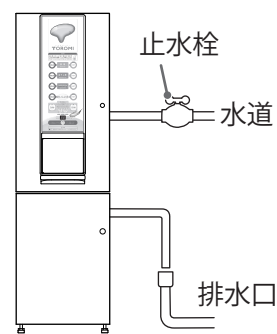
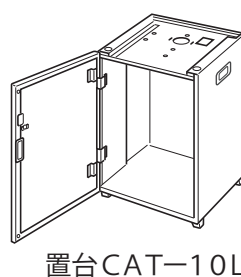
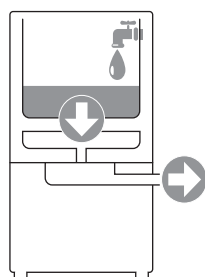
Dタイプ (水道直結・直接排水・卓上式)

既存のテーブルやカウンターの上にセットして、給水は水道に直結、排水は排水口に直接排水して使用します。



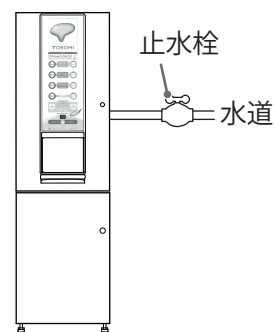
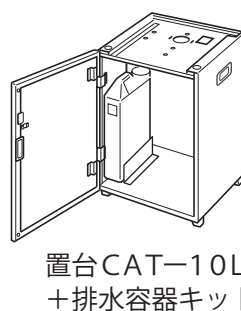
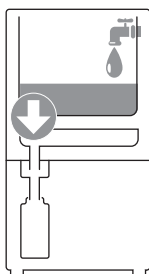
PAタイプ (水道直結・直接排水式)

置台CAT-10Lと連結して、給水は水道に直結、排水は排水口に直接排水して使用します。置台内部に浄水器 (水フィルター) が組み込まれているタイプと組み込まれていないタイプがあります。



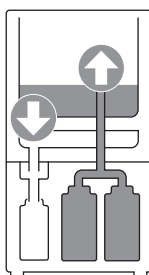
PBタイプ (水道直結・排水容器付)

置台CAT-10Lに排水容器キットOKT-11Lを取り付けて使用します。給水は水道に直結し、排水は排水タンク (10L) に排水して使用します。

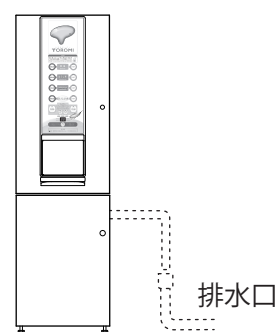
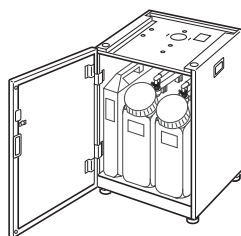


Tタイプ (下部給水・排水容器付)

置台CT-33Lと連結して、給水は水タンク (15L × 2個) から内臓ポンプで給水し、排水は排水タンク (10L) または、排水口に直接排水して使用します。置台内部に浄水器 (水フィルター) が組み込まれています。



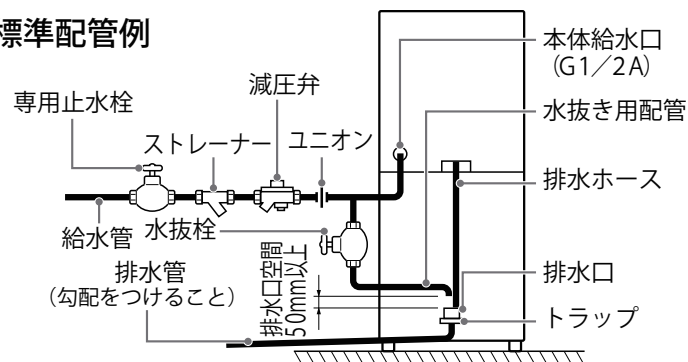
※排水を直接排水で使用することもできます。排水設備のある場合は、直接排水でお使いいただくことをお勧めします。水漏れの場合に拡大被害を防ぎ、排水を捨てる手間もかかりません。(変更方法は12ページ参照)



配管工事

上水道を使用する場合は、当該水道局の条例に基づき、認定工事業者が施工してください。

標準配管例



※水抜き用配管は逆流防止のため、排水口空間を50mm以上確保してください。

給水配管

配管工事は据付地区の気象条件にあわせ、標準配管例に準じて施工します。

また、寒冷地区は凍結防止処理を標準配管例に準じて施工します。

配管は耐食性のあるステンレス管や合成樹脂内面処理管などを水質により選定し、配管材料は切断後、必ずバリを取って使用してください。

配管材料を製品本体に接続する前に、必ず捨て水をして、配管内のゴミ・シール材などを洗い流してから接続してください。油汚れ、バリやゴミなどが入ると動作不良や異味、異臭の原因になります。

保守・点検や水漏れの対策として、給水側に専用止水栓と水抜き栓と減圧弁を設け、減圧弁の出口側にはユニオンを設けてください。水抜きよう配管は逆流防止のため、排水口空間を50mm以上設けてください。

また、専用止水栓の後にストレーナーを設けることにより、給水側から製品本体への異物侵入を防ぎます。

排水配管

使用する排水管は、熱いお湯が流れるので耐熱性のある管を使用してください。

また、防臭・湯気の逆流防止のためにトラップを設けてください。

排水ホースや排水管は排水皿からの流水が流れやすいように下り勾配にしてください。

別売の漏水検知装置の取り付けをおすすめします

水漏れのときに、給水を止め拡大被害を防ぎます。

据え付けのタイプにより適合する漏水検知装置は以下の通りです。

Dタイプ・PAタイプ…漏水検知装置（RKT-25）

PBタイプ・Tタイプ…ドレンパン（RKT-01P）+ 漏水センサー（RKT-04P）

Dタイプ（卓上）で使用する場合〔水道直結・直接排水式〕

給水配管の接続

製品本体背面の給水口に、ユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して給水配管をします。給水口の口径はG1/2Aです。

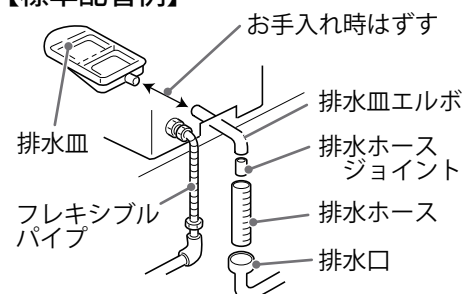
排水配管の接続

排水皿に付属の排水皿エルボ、排水ホースジョイント、排水ホースの順に接続します。排水ホースは直接、排水口に導き排水ホースの先端を排水口の中に50mm以上差し込みます。排水ホースの先端がつぶれたり排水管に密着してふさがれていないか確認してください。

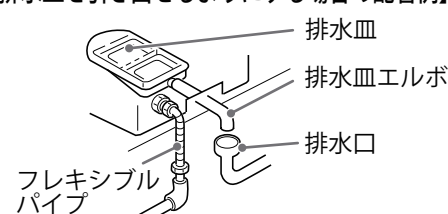
排水皿のお手入れは、排水皿エルボからはずして行ってください。

排水皿のお手入れをしやすくするために、排水皿を引き出せるように配管（右下図）をする場合は、排水皿の位置ズレによる水漏れを防ぐため裕度必要ですので、排水口部をΦ50mm以上の配管またはロート形状にしてください。また、別売のDタイプ専用アジャスター（AJT-D）やDタイプ専用置台（CAT-15MW）を使用し、お手入れをしやすくする方法もあります。詳しくは販売店へご確認ください。

【標準配管例】



【排水皿を引き出せるようにする場合の配管例】

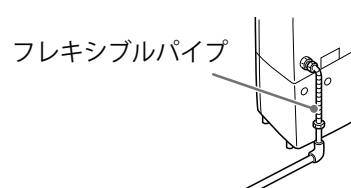


据付工事 (つづき)

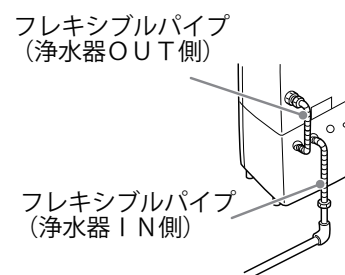
PAタイプ（置台CAT-10L）で使用する場合 [水道直結・直接排水式]

給水配管の接続（浄水器無の場合）

製品本体背面の給水口に、ユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して給水配管をします。給水口の口径はG1/2Aです。



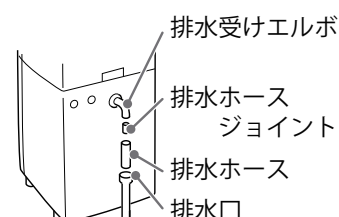
給水配管の接続（浄水器付の場合）



排水配管の接続

「置台を使用する場合の排水皿処置」(12ページ参照)をおこない、置台背面から出ている排水受けエルボに排水ホースジョイント、排水ホースの順に接続します。

排水ホースは直接、排水口に導き排水ホースの先端を排水口の中に50mm以上差し込みます。排水ホースの先端がつぶれたり排水管に密着してふさがれていないか確認してください。



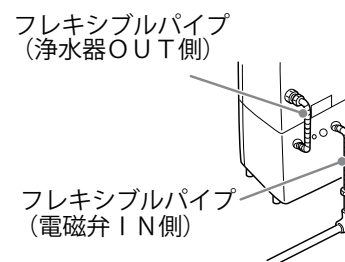
PBタイプ（置台CAT-10L + 排水容器キットOKT-11L）で使用する場合 [水道直結・容器排水式]

給水配管の接続

置台内に排水容器キットを同梱されている取付説明書に従い取り付け置台背面の穴からユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して、置台内部の電磁弁のIN側の継手に給水配管をします。

浄水器の継手の口径はG1/2Aです。

また、置台に付属するフレキシブルパイプで浄水器のOUT側の継手と製品本体背面の給水口との間を水漏れのないように確実に接続します。

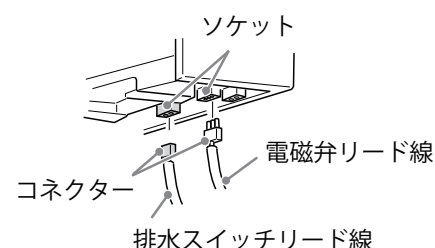


リード線の接続

電源スイッチ（漏電遮断器）が切れていることを確認します。 認置台の排水スイッチと電磁弁のリード線のコネクターを製品本体底部のソケットへ差し込みます。

製品本体の排水皿を取り出し、製品本体と置台の隙間から覗くとソケットが見えて作業しやすくなります。

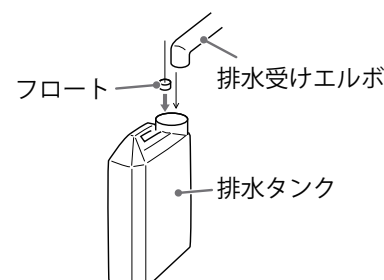
差し込んだ後は軽い力で引っ張り、抜けないことを確認してください。



排水配管の接続

「置台を使用する場合の排水皿処置」(12ページ参照)をおこない、置台上部の排水受けエルボが、排水タンクに導かれていることを確認し、排水スイッチのフロートを排水タンクの中に入れます。

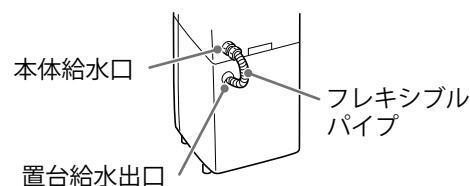
フロートを正しく入れないと水漏れになります。



Tタイプ（置台CT-33L）で使用する場合 〔下部給水・容器排水または直接排水式〕

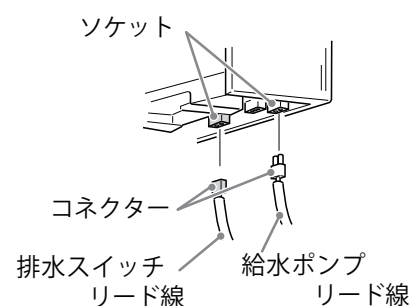
給水配管の接続

置台に付属するフレキシブルパイプで浄水器のOUT側の継手と製品本体背面の給水口との間を水漏れのないように確実に接続します。



リード線の接続

電源スイッチ（漏電遮断器）が切れていることを確認します。
置台の排水スイッチと電磁弁のリード線のコネクターを製品本体底部のソケットへ差し込みます。
製品本体の排水皿を取り出し、製品本体と置台の間から覗くとソケットが見えて作業しやすくなります。
差し込んだ後は軽い力で引っ張り、抜けないことを確認してください。

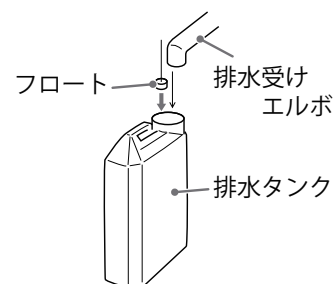


排水方式の選択と排水配管の接続

排水は容器排水と直接排水のどちらかを選択できます。工場出荷時は容器排水式にセットされていますが、排水設備のある場合は、直接排水でお使いいただくことをお勧めします。水漏れの場合に拡大被害を防ぎ、排水を捨てる手間もかかりません。

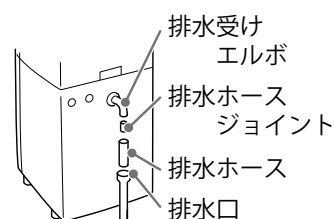
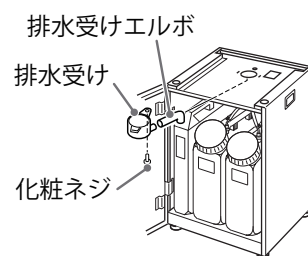
容器排水の場合

「置台を使用する場合の排水皿処置」をおこない、置台上部の排水受けエルボが排水タンクに導かれていることを確認し、排水タンクをセットすると排水スイッチのフロートが排水タンクの中に入ります。
フロートを正しく入らないと水漏れになります。



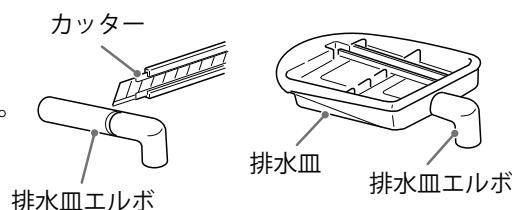
直接排水の場合

「置台を使用する場合の排水皿処置」をおこない、置台上部の排水受けを化粧ネジをはずし、排水受けエルボが背面に突き出るように排水受けを取り付け直します。
排水受けエルボに排水ホースジョイント、排水ホースの順に接続します。
排水ホースは直接、排水口に導き排水ホースの先端を排水口の中に50mm以上差し込みます。排水ホースの先端がつぶれたり排水管に密着してふさがれていないか確認してください。



置台を使用する場合の排水皿処置

- ①製品本体に付属の排水皿エルボを切り込み線からカッターなどで切断します。
- ②排水皿エルボを、先端が下向きになるように排水皿に接続します。
- ③排水皿を製品本体にセットし、排水皿エルボの先端が置台上部の排水受けに、正しく向いていることを確認します。



据付工事 (つづき)

電気工事

電気設備に関する技術基準および内線規定に基づき、指定工事業者が施工してください。

アース（接地）線の接続

電源を接続する前に、アース（接地）はD種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを必ず確認してください。

電源の接続

電源は交流100V、定格15A以上の専用コンセントを使用してください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

専用コンセントは製品本体に異常があるときに、電源プラグを抜くことができる場所に施工してください。



警告

アース（接地）の取り付けをする

電気設備技術基準および内線規定に従った、D種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、アース線を確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを必ず確認してください。故障・漏電したときに感電する原因になります。



アースの接続

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。発火したときにやけどや火災の原因になります。



コンセントを単独で使用

チェックポイント

設置が終了したら次の項目をチェックしてください。

設置のチェックポイント

- 据え付けた床面の強度は十分ですか？
- 製品本体はぐらつかず安定していますか？
- 風通しが良く、保守サービスが可能ですか？

配管工事のチェックポイント

水道直結の場合

- 配管は設置地区の基準に従っていますか？
- 専用止水栓はついていますか？
- ストレーナー、減圧弁の取付方向と位置は適切ですか？

直接排水の場合

- 排水ホースは折れ、曲がり、ねじれはありませんか？
- 排水ホースの先端が排水口の中に50mm以上差し込まれていますか？
- 排水ホースの先端がつぶれたり、排水管に密着してふさがれていませんか？
- 排水管にトラップは設けてありますか？

電気工事のチェックポイント

- アースの接続は確実ですか？
- 接地抵抗を測定し100オーム以下でしたか？
- 電源プラグは、専用コンセント（100V・15A以上）に確実に接続してありますか？

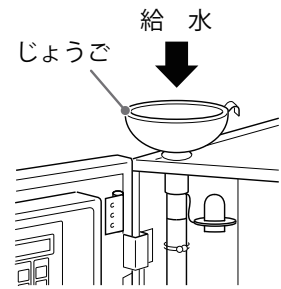
はじめてご使用になる前に

(つづく)

次の手順で試運転を行いながらチェックをしてください。

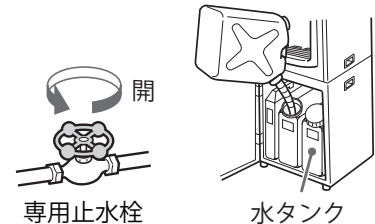
1. 冷却用タンクに給水する

- ① 本体上部中央のネジ（1本）をはずし、上面板をはずしてください。
- ② 給水ホースは製品本体内部左側にあります。
ホースを本体にセットしたまま、ホース先端のキャップをはずし、上面の左手前にある穴からじょうごを入れてホースの先端に差し込んでください。
（じょうごは本体内部左側面の下側にあります）
- ③ 周囲に水をこぼさぬよう上から給水してください。冷却用タンク（4.9L）が満水になると下部の排水皿に水が流れますので給水を止めてください。
じょうごをはずしてホースの先端をキャップで確実に閉めてください。
- ④ はずしたネジで上面板を確実に固定してください。



2. 製品へ給水する

D/P A/P Bタイプ（水道直結式）の場合は専用止水栓を開きます。
Tタイプ（下部給水式）の場合は、別売の給水タンクなどで置台の水タンク2個に満水レベル（15L）まで給水します。



注意

2つの水タンクに給水してから電源を入れる

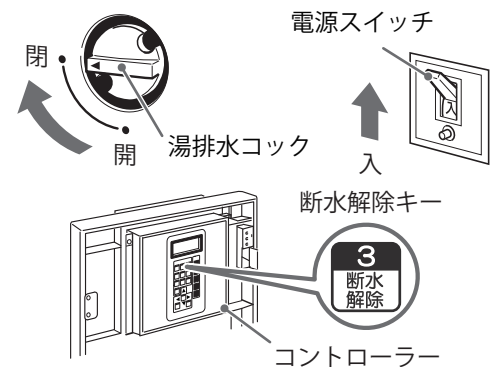
水タンクが空の状態や、1つのタンクに給水しただけで電源を入れると正常に給水できなく、ポンプの故障の原因になります。



指示

3. 電源を入れる

カップステーションの後ろ側にある湯排水コックが閉まっていることを確認し、電源スイッチ（漏電遮断器）のレバーを上げ電源を入れます。電源スイッチは、常時入れたままでご使用ください。
夜間等に電源スイッチを切っておくと、防湿ヒーターが働かず原料が固まり出なくなることがあります。
断水や水タンクが空になるなど、一度で満水にならないときは、断水ランプが点滅し給水を中断します。水道直結式の場合は給水を確認してから、下部給水式の場合は水タンクに水を補給してから、コントローラーの「断水解除」キーを押すと、給水を再開します。

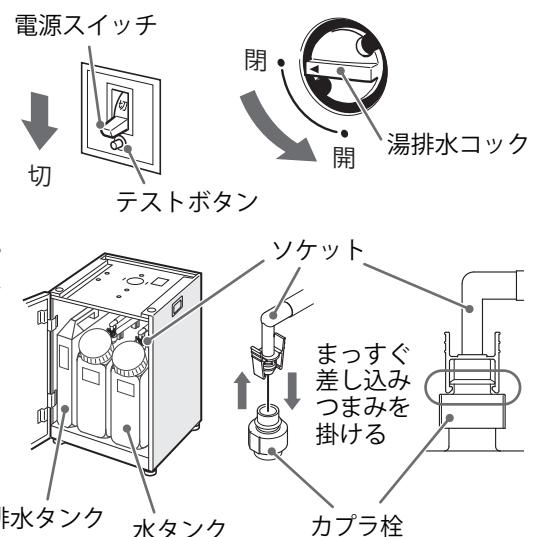


4. 排水する

電源スイッチ（漏電遮断器）のレバーを下げ電源を切ります。
電源スイッチを切らないと、排水中に給水してしまいます。
カップステーションの後ろ側にある湯排水コックを開いて排水します。
P B/Tタイプで置台の排水タンク（約10L）をご使用の場合は、排水タンクが空の状態で製品本体の排水をしてください。排水タンクに残水がある状態で製品本体の排水（約6L）をすると溢れる場合があります。製品本体の排水が終わったら、排水タンクの残水を排水します。
Tタイプ（下部給水式）の場合は、水タンク上部のソケットをはずし、水タンクを取り出して残水を排水します。

●カプラの脱着

はずすときは、ソケットのつまみを持ってカプラ栓から抜きます。
接続はソケットを突き当たるまでまっすぐに差し込み、ソケットのつまみを引っ掛けて固定します。斜めに挿入すると密閉性が悪く、水を吸い上げなくなる場合があります。
最後にソケットが抜けないことを確認してください。



試運転時のチェックポイント

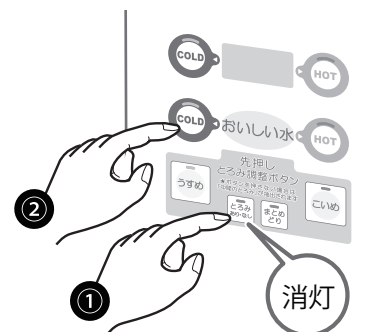
- 給水中、給水完了後、排水時に製品本体、および各配管接続部から水漏れはありませんか？
- P B/Tタイプの場合に、排水タンクのプロートを持ち上げると、排水ランプが点滅しますか？
- 漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを押して「切」になることを確認しましたか？
電源スイッチは漏電遮断器をかかえています。テストボタンを押し、レバーが「切」になれば正常です。

お願い

長時間お使いにならないとき

2日以上ご使用にならなかったとき

雑菌が繁殖している恐れがありますので、湯タンクの水を新しい水道水と入れ替えてください。14ページの「排水する」に従い湯タンクの排水をします。排水が終了したら湯排水コックを「閉」にし、再度電源スイッチを入れます。また、本体内の残水ですてるために、「とろみあり・なし」ボタンを押して、とろみなしモード（LEDランプ消灯）で「冷水」を5～6回抽出します。



1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の原料を全部取り出します。

D/P A/P Bタイプ(水道直結式)の場合は専用止水栓を閉め、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、14ページの「排水する」に従い排水してください。



注意

2日以上使用しないときは湯タンクと置台の水タンクの水を排水する

2日以上ご使用にならないときは、湯タンクと置台の水タンクの水を排水してください。雑菌繁殖の恐れがあります。



指示

お湯と水の配管部分は定期的に点検してください

水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

お手入れをするとき

クレンザー、シンナー、ベンジン、灯油、アルコール、ベンゾールなどを使用しないでください。

変質・変色・破損の原因となる場合があります。

また、樹脂部品にハンドクリーム等が付着したまま放置すると、変色の原因となる場合がありますので、付着した場合は速やかにふき取ってください。

原料の入れかた



警告

指定の原料以外は使用しない

原料の種類によって粒度や吸湿性が異なると、正常な動作ができないことがあります。とろみ調整食品は適正な粘度のとろみが見つからない場合やの溶け残り(ダマ)が残る場合があります。とろみを強くつけすぎたものや溶け残り(ダマ)を飲むと喉につまる恐れがあります。



指示

1 原料容器と飲料ボタンを確認する

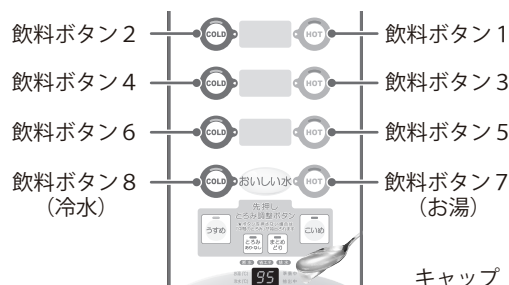
前面板の飲料ボタンと原料容器の関係を確認します。
とろみ調整食品は必ず原料容器2に入れてください。

2 原料容器に原料を入れる

原料容器の蓋を開き、上から原料を静かに入れます。容量は約800mLです。容器をたたいたりして、原料を無理に詰め込まないでください。内部で固まり出なくなることがあります。

原料容器を脱着するときは

原料がこぼれないように、原料容器蓋についているキャップを取りはずし原料容器の先端にかぶせて、静かに取り扱ってください。

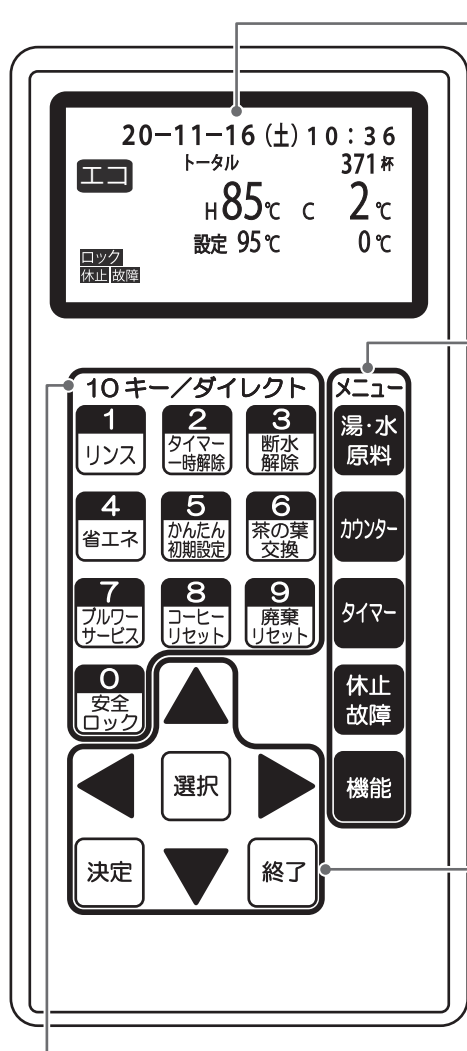


コントローラーの使いかた

(つづく)

コントローラーで設定できる機能

- 工場出荷時は各機能に標準的な使いかたの値が設定されています。



表示部

待機画面では、現在時刻・トータル抽出回数・湯タンクや冷水機の運転状態・現在の温度および設定温度等を表示します。

飲料が抽出できない状態では「休止モニター」を、故障の場合は「故障モニター」を自動で表示します。

メニュー

湯・水原料 各飲料ボタンの原料種類、基準値、原料量、湯水量、飲料温度の設定ができます。

カウンター 使用期間、トータルの累計杯数、各飲料ボタンごとの累計杯数、有料設定ボタンの累計杯数を表示します。

タイマー 浄水器交換時期、冷却水交換時期、週間予約、休日予約、自動リンス、沸騰制御、現在時刻の設定ができます。

休止故障 製品に何らかの異常が発生し、休止した場合と故障した場合の履歴をそれぞれ20項目まで表示します。

機能 製品の給水方式、抽出時の動作音、コントローラーの操作音、お湯の沸き上げ温度の設定ができます。
また、製品のプログラムソフトのバージョンが確認できます。

カーソル、選択、決定、終了

カーソルキー 画面、項目、内容、数値などを移動、変更します。

選択 選択キー
項目を選択します。

決定 決定キー
入力した内容を決定します。

終了 終了キー
待機画面に戻ります。

10キー／ダイレクト

数値を入力する項目では数値入力の10キーとして入力ができます。

また表示されている機能やメニューをダイレクトで選択できます。

1 リンス このキーを押すと抽出路を熱湯ですすぐ動作をおこないます。
自動でリンスを行う設定は28ページを参照してください。

2 タイマー一時解除 このキーを押し「一時解除」に設定すると、休止中の条件が一時的に解除され抽出ができるようになります。
お湯や冷水の温度が適温に達していない場合や、週間予約などのタイマーでの休止中や学習省エネ運転などが動作しているなど休止中の条件は37ページを参照してください。

3 断水解除 「湯断水」「水断水」を解除し、給水を再開します。

4 省エネ 「学習省エネ運転」「エコモード運転」「通常運転」を切り替えます。
各運転モードについては37ページを参照してください。

5 かんたん初期設定 はじめてご使用になるときの基本的な設定をおこないます。
設定項目については17ページを参照してください。

6 茶の葉交換 **7 フルサービス** **8 コーヒーリセット** **9 廃棄リセット** 10キーとしてのみ使用できます。
各機能はこの機種では対応していません。

0 安全ロック 飲料ボタンを長押ししないと抽出できないようにする安全ロックの設定をおこないます。
安全ロックを設定したときに、飲料ボタンのランプが消灯している飲料は、ロックがされていて飲料の抽出ができません。飲料ボタンを長押しすると、ロックが解除されランプが点灯し、飲料の抽出が可能になります。

コントローラーの使いかた (つづき)

かんたん初期設定

初めてご使用の際に必要なとなる基本的な設定をまとめた「かんたん初期設定」があります。

「かんたん初期設定」では下記の設定をおこなうことができます。必要に応じて各項目の設定をおこなってください。

<設定一覧>

設定メニュー	内 容	設 定 可 能 値	
操 作 音	コントローラー操作時のブザー音の有無を設定できます。	する・しない	
抽 出 音	抽出中のブザー音の有無を設定できます。	する・しない	
給 水 方 式	お使いになる製品の給水タイプが設定できます。	下部タンク・水道直結	
カップサイズ	全ての飲料ボタンの抽出する量を一括で設定できます。	S 120ml・M 140ml・L 160ml	
原 料 種 類	各飲料ボタンの「原料種類」を設定できます。	上煎茶、煎茶、さわやか煎茶、ほうじ茶、ウーロン茶、 玄米茶、麦茶、フレッシュウォーター、インスタントコーヒー、 ストレートティー、レモンティー、アップルウォーター、 SKAMACHI-Cafe、乳酸菌、とろみ調整食品、その他	
浄水器交換案内	除菌浄水器（水フィルター）の交換時期を設定し、 交換時期に達したときに警告または停止させるか どうかの選択をおこなうことができます。	案内動作	警告表示・抽出停止・しない
		使用期限	設定日～991231
冷却水交換案内	冷却用タンクの水の交換時期を設定し、交換 時期に達したときに警告または停止させるか どうかの選択をおこなうことができます。	案内動作	警告表示・抽出停止・しない
		使用期限	設定日～991231

<設定方法> [例] 給水方式を水道直結にする。

順序	キー操作	表 示 部 表 示	内 容
1		* 初期設定（基本） 操作音 : する 抽出音 : する ▶ 給水方式 : 下部タンク カップサイズ : S 120ml	「かんたん初期設定」キーを押した後、   キーを押して、変更したい項目に▶をあわせませす。
2	   	* 初期設定（基本） 操作音 : する 抽出音 : する ▶ 給水方式 : 下部タンク カップサイズ : S 120ml	 キーを押すと「下部タンク」が点滅します。
3	   	* 初期設定（基本） 操作音 : する 抽出音 : する ▶ 給水方式 : 水道直結 カップサイズ : S 120ml	点滅している項目を   キーで変更します。 (項目によっては、10キーで数字を直接入力することもできます。)
4		* 初期設定（基本） 操作音 : する 抽出音 : する ▶ 給水方式 : 水道直結 カップサイズ : S 120ml	「決定」キーを押して設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	上記と同様の手順で、変更したい項目の設定をおこなってください。 「終了」キーを押すと設定完了です。

メニューキーの機能一覧

湯・水
原料

キー

飲料の量、温度、原料に関する設定ができます

機 能	内 容			掲載ページ
原料種類設定	各飲料ボタンの「原料種類」と「基準値※」を設定できます。 ※基準値は、原料の設定値と実際に出る量との違いを補正する機能です。 基準値を設定することにより、「湯水原料量／温度」の機能で設定した原料の量を正しく出すことができるようになります。			21
	設定可能値	原料種類	上煎茶、煎茶、さわやか煎茶、ほうじ茶、ウーロン茶、玄米茶、麦茶、フレッシュウォーター、インスタントコーヒー、ストレートティー、レモンティー、アップルウォーター、SKAMACHI-Cafe、乳酸菌、とろみ調整食品、その他	
		基準値	0.1～8.0 g 《設定単位0.1 g》	
湯水原料量 温 度	本製品は粉末飲料ととろみ水を別々に抽出してカップに注ぎ、カップ内で混ぜ合わせてとろみ飲料を作ります。各飲料ボタンのとろみ飲料を作るとき、粉末飲料およびとろみ水それぞれの湯または水の抽出する量、温度、原料の量が設定できます。粉末飲料はとろみの粘度毎に温度が設定でき、とろみ水はとろみの粘度毎に温度、原料の量（とろみ調整食品の量）が設定できます。 粉末飲料だけ（とろみなし）で抽出する場合、抽出する量は粉末飲料の設定量と、とろみ水の設定量の合計した量となります。			22
	設定可能値	湯・水(注1)	30～200 ml・連続《設定間隔1 ml》	
		温 度(注2)	COLD湯添加・COLD・3～85℃・HOT《設定間隔1℃》(注3)	
		原料量(注4)	0.1～8.0 g 《設定間隔0.1 g》	
一括カップサイズ設定	おいしい水のボタンは除き、全ての飲料ボタンの抽出する量を一括で設定できます。			23
	設定可能値	S 120ml・M 140ml・L 160ml		

- 湯・水・原料の量は目安であり、実際の量とは多少異なる場合があります。

(注1) 飲料ボタン9はお湯用、飲料ボタン10は冷水用の飲料ボタンです。

工場出荷時の「とろみなし」のお湯および冷水は、飲料ボタンを押している間だけお湯または冷水を抽出する「連続」設定ですが、湯・水の量を数値に設定すると設定した量のお湯または冷水が抽出されます。このとき飲料ボタンを押し続けると、設定した量を下限として押している間だけお湯または冷水が抽出されます。

また湯・水の量を数値に設定したときは、温度を数値に設定することもできます。

この場合は、飲料ボタンを押し続けてもお湯または冷水は設定した量だけしか抽出されません。

(注2) 湯・水の量を「連続」に設定したとき、温度は「HOT」または「COLD」のみの設定となります。

(注3) 「COLD湯添加」設定は、冷水に湯を少量混ぜて抽出するので、COLD飲料抽出時に原料を溶けやすくします。

「COLD」は冷水のみ、「HOT」はお湯のみとなります。

(注4) 飲料ボタン7、8の「とろみなし」のお湯および冷水は原料量を設定できません。

カウンタ-

キー

累計の抽出回数を確認できます

機 能	内 容	掲載ページ
カウンター	製品全体での抽出回数や、各飲料ボタンごとの抽出回数を確認できます。	33

コントローラーの使いかた (つづき)

タイマー キー

各種タイマー機能を設定できます

機 能	内 容			掲載ページ
浄水器交換案内	除菌浄水器（水フィルター）の交換時期を設定し、交換時期に達したときに警告または停止させるかどうかの選択をおこなうことができます。 この機能は浄水器（水フィルター）が必要です。			24
	設定可能値	案内動作	警告表示・抽出停止・しない	
		使用期限	設定日～991231《設定間隔1日》	
冷却水交換案内	冷却用タンクの水の交換時期を設定し、交換時期に達したときに警告または停止させるかどうかの選択をおこなうことができます。			25
	設定可能値	案内動作	警告表示・抽出停止・しない	
		使用期限	設定日～991231《設定間隔1日》	
週 間 予 約	曜日ごとに運転時間を設定できます。 休日や夜間などの運転を自動的に停止させることができます。			26
	設定可能値	予約動作	する・しない	
		曜 日	月～金（一括）・月～日	
		開始時刻	00:00～23:59・連続《設定間隔1分》（注5）	
		終了時刻	00:00～23:59・連続停止《設定間隔1分》（注5）	
		冷水機運転	する・しない	
休 日 予 約	連続して停止させたい期間の年月日を最大9回まで設定できます。 連休などの運転を自動的に終日停止させることができます。			27
	設定可能値	予約動作	する・しない	
		開始日・終了日	000101～991231《設定間隔1日》	
		冷水機運転	する・しない	
自 動 リ ンス	曜日ごとに1日最大4回、設定時刻に抽出口や配管などを自動的にリンス（すすぎ）することができます。 また、リンスするときの湯・水の量、浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替え※も設定できます。※浄水器（水フィルター）が必要です。			28～29
	設定可能値	リンス動作	する・しない・週間予約同期	
		曜 日	月～日・毎日	
		時 刻（注5）	00:00～23:59・しない《設定間隔1分》	
		湯量／水量	10～150ml／10～100ml《設定間隔1ml》	
		浄水器	0～5000ml《設定間隔100ml》	
とろみリンス	とろみ抽出路のリンス（すすぎ）をする条件の設定ができます。 とろみ抽出路の汚れや固着を防ぐため、抽出した回数や放置した時間を設定すると、手動の場合はランプやブザー音でお知らせし、自動の場合はリンスを実行します。			30
	設定可能値	開始動作	手動・自動	
		抽出回数	0～10回《設定間隔1回》	
		放置時間	5～120分・しない《設定間隔5～60分》	

（注5）開始時刻を「連続」に設定すると終日運転に、終了時刻を「連続停止」に設定すると終日停止になります。

機 能	内 容			掲載ページ
沸 騰 制 御	1日に最大3回、設定時刻になると自動的に湯を沸騰させることができます。			31
	設定可能値	沸騰動作	する・しない・週間予約同期	
		時刻(注6)	00:00～23:59・しない《設定間隔1分》	
現 在 時 刻	現在の年月日、時刻の調整に使用します。曜日は自動で修正されます。			32
お手入れ時間	毎日のお手入れ時間を設定し、設定時刻になるとお手入れのお知らせをします。			32

(注6) 時刻を「しない」に設定すると動作はしません。

休止
故障

キー

休止や故障の履歴を確認できます

機 能	内 容	掲載ページ
休 止 履 歴	休止があった場合、最新の休止 20 項目が表示されます。	33
故 障 履 歴	故障があった場合、最新の故障 20 項目が表示されます。 修理依頼時に表示内容をご連絡ください。	

機能

キー

より便利に使用するための機能を設定できます

機 能	内 容			掲載ページ
給 水 方 式	この機能は製品を安全に使用していただくために、給水方式を設定する機能です。 給水方式は「下部タンク」と「水道直結」が設定できます。 「下部タンク」は製品への給水が必要な条件の都度、給水する動作をおこないます。 「水道直結」は異常を検知したとき以外、常に製品へ給水する動作をおこないます。 下部給水式(Tタイプ)でご使用の場合は、製品の故障や水漏れなどの事故になります ので必ず「下部タンク」に設定してください。			33
	設 定 可 能 値	下部タンク・水道直結		
動 作 音	各種動作（コントローラー操作／抽出中／リンス動作中／沸騰動作中／とりみリンス案内） のお知らせブザー音の有無を設定できます。			34
	設 定 可 能 値	操作音・抽出音・リンス動作音・沸騰動作音・リンス案内音	する・しない	
湯 温	お湯の沸き上げ温度の設定ができます。			34
	設 定 可 能 値	80～98℃《設定間隔1℃》		
パネルボタン 待 機 時 設 定	待機時における操作パネルの「とりみあり・なし」ボタンと「まとめどり」ボタンの 選択状態（優先状態）が設定できます。			35
	設 定 可 能 値	と ろ み	あり・なし	
		ま と め	まとめ・1杯	
抽 出 順 序	とりみ飲料を作るときのとりみ水と粉末飲料の抽出順序が設定できます。 抽出順序を変えることでとりみ水と粉末飲料の混ざり具合が変化します。			35
	設 定 可 能 値	同時・飲料→とりみ・とりみ→飲料		
ま と め ど り 連 続 回 数	各飲料ボタンのまとめ取り時の抽出回数がとりみの粘度毎に設定できます。 設定されている1杯の飲料量がとりみの粘度毎に設定した回数分抽出されます。			36
	設 定 可 能 値	薄め・中間・濃い・なし	1～20回	
バージョンチェック	マイコンのバージョン情報を表示します。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。			—

コントローラーの使いかた (つづき)

原料の種類・基準値を設定する

原料の基準値とは、実際に使用する原料量を正確に吐出するために、一定の動作時間で吐出される原料吐出動作の基準となる原料量です。この原料基準値を測定し設定することで、設定した各飲料の原料量を正確に吐出します。専用原料の種類を設定すると自動で基準値も設定されます。

原料基準値は、はかりで10回程度測定して平均値を入力してください。

〔例〕原料容器No.4をフレッシュウォーターに設定（順序1～4）、原料容器No.3の基準値を変更（順序5～8）する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*湯・水・原料メニュー ▶原料種類設定 湯水原料量／温度 一括カップサイズ設定	「湯・水・原料」キーを押して「湯・水・原料メニュー」画面を表示させ、「湯・水・原料」キーまたは キーを押して「原料種類設定」に▶をあわせませす。
2	 	*No. 種類 基準値 1：煎茶 0.7g 2：とろみ調整食品 4.5g 3：インスタントコーヒー 0.7g ▶4：玄米茶 0.6g	「選択」キーまたは キーを押すと左記画面が表示されます。 キーを押してNo.「4」に▶をあわせ、 キーを押すと「フレッシュウォーター」が点滅します。
3	 	*No. 種類 基準値 1：煎茶 0.7g 2：とろみ調整食品 4.5g 3：インスタントコーヒー 0.7g ▶4：フレッシュウォーター 1.4g	点滅している項目を キーで「玄米茶」に変更します。 (原料種類を変更すると基準値も自動的に変更されます)
4		設定項目の点滅が終わり確定します。	「決定」キーを押して設定を確定します。
5	 	*No. 種類 基準値 1：煎茶 0.7g 2：とろみ調整食品 4.5g ▶3：インスタントコーヒー 0.7g 4：フレッシュウォーター 1.4g	キーを押して、基準値を設定したい原料容器No.に▶にあわせ、 キーを2回押すと基準値が点滅します。
6		*No. 種類 基準値 1：煎茶 0.7g 2：とろみ調整食品 4.5g ▶3：インスタントコーヒー 0.7g 4：フレッシュウォーター 1.4g	基準値の数値を点滅させた状態で「選択」キーを押すと、基準値を設定する原料容器から原料が出て来ますので、それを容器で受けて軽量します。
7	 	*No. 種類 基準値 1：煎茶 0.7g 2：とろみ調整食品 4.5g ▶3：インスタントコーヒー 1.5g 4：フレッシュウォーター 1.4g	数回測定した量の平均値を10キーで直接入力するか キーで数値を変更します。 ここでは仮に1.5gとします。
8		設定項目の点滅が終わり確定します。	「決定」キーを押して設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

- コントローラーを交換したときや、RAMクリアーをおこなったときは、基準値設定をしてください。
- 機種によって原料容器の数が異なります。

各飲料ボタンの抽出条件(湯水原料量／温度)を設定する

各飲料ボタン毎にとろみ粘度毎の粉末飲料およびとろみ水の「湯・水量(飲料量)」、「(飲料の)温度」、「原料量」が設定できます。

[例] ボタン3の濃いめのとろみ水の原料量(とろみ剤の量)を5.0g、湯・水量を70mlに設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*湯・水・原料メニュー 原料種類設定 ▶湯水原料量／温度 一括カップサイズ設定	「湯・水・原料」キーを押して「湯・水・原料メニュー」画面を表示させ、「湯・水・原料」キーまたは キーを押して「湯水原料量／温度」に▶をあわせませう。
2	 	*ボタン 1 煎茶 湯・水量 薄： 30ml 湯・水量 中： 30ml 湯・水量 濃： 30ml 湯・水量 ㇿ： 120ml	「選択」キーまたは キーを押すと左記画面が表示されます。 キーを押すとボタン毎の設定画面が切り替わります。 ※ボタン毎に粉末飲料の飲料量・温度・原料量を設定する3画面と、とろみ水の量・温度・原料量を設定する3画面で表示されます。 「薄」はうすめのとろみ飲料、「中」は中間のとろみ飲料、「濃」は濃いめのとろみ飲料、「ㇿ」はとろみなしの飲料のことを表します。
3	 	*ボタン 3 トロミ 原料量 薄： 1.6g 原料量 中： 2.7g ▶原料量 濃： 4.2g	キーを押してボタン「3」トロミの原料量の設定画面に切り替えて、 キーを押すと▶マークが表示されます。 キーを押して「原料量 濃」に▶をあわせ、 キーを押すと「4.2」gが点滅します。
4	 	*ボタン 3 トロミ 原料量 薄： 1.6g 原料量 中： 2.7g ▶原料量 濃： 5.0g	10キーで直接入力するか キーで数値を「5.0」gに変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4	 	*ボタン 3 トロミ 湯・水量 薄： 90ml 湯・水量 中： 90ml ▶湯・水量 濃： 70ml	キーを押して「湯・水量 濃」に▶をあわせ、 キーを押すと数値が点滅します。 10キーで直接入力するか キーで数値を「70」mlに変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

●抽出される「湯・水量(飲料量)」はとろみ粘度毎の粉末飲料ととろみ水の合計量となります。

例) ボタン1煎茶 湯・水量 中：40ml 温度 中：HOT 原料量 中：1.0g

ボタン1トロミ 湯・水量 中：110ml 温度 中：40℃ 原料量 中：4.0g

上記数値で設定すると、約85℃の煎茶が40mlと約40℃のとろみ水が110mlがカップに抽出されて、約50℃の中間のとろみ飲料が約150ml出来上がります。

●とろみ飲料はとろみの粘度が立ち上がるとカサ(質量)が増えますので、「湯・水量(飲料量)」の設定値と実際の出来上がりの量は異なります。とろみ調整食品の原料量(添加量)によって出来上がりのが変わりますので、出来上がり量を確認しながら、「湯・水量(飲料量)」を設定してください。

コントローラーの使いかた (つづき)

カップサイズを一括で設定する

この機能でカップサイズ（飲料量）を設定すると、すべての抽出ボタンの湯・水量、原料量が一度で設定できます。
この機能でカップサイズ（飲料量）を変更した場合、粉末飲料は30mlの固定でとろみ水の量が変更されます。

〔例〕すべての飲料量をカップサイズL（160ml）に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*湯・水・原料メニュー 原料種類設定 湯水原料量／温度 ▶一括カップサイズ設定	「湯・水・原料」キーを押して「湯・水・原料メニュー」画面を表示させ、「湯・水・原料」キーまたは  キーを押して「一括カップサイズ設定」に ▶をあわせます。
2		*一括カップサイズ設定 ▶カップサイズ: S 120ml	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「S 120ml」が点滅します。
3	  	*一括カップサイズ設定 ▶カップサイズ: L 160ml	 キーを押して、「L 160ml」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

●カップサイズの設定は、S（120ml）、M（140ml）、L（160ml）があります。

累計の抽出杯数を確認する

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*カウンター 使用期間 20-11-16~21-08-28 トータル 12345杯	「カウンター」キーを押すと、「カウンター」画面が表示され、使用期間とすべての飲料の抽出杯数が確認できます。
2	 	*カウンター ボタン1 1036杯 ボタン2 371杯 ボタン3 502杯 ボタン4 230杯	 キーを繰り返し押すと、トータル → ボタン1～4 → ボタン5～8と各飲料ボタンの抽出杯数が順次表示されます。
3		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

浄水器の交換時期を設定する

[例] 浄水器交換日を2021年12月1日として、交換日になったら休止表示をして運転を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		＊タイマーメニュー ▶浄水器交換案内 冷却水交換案内 週間予約 休日予約	「タイマー」キーを押して「タイマーメニュー」画面を表示させ、「タイマー」キーまたは   キーを押して「浄水器交換案内」に▶をあわせませす。
2	    	＊浄水器交換案内 ▶案内動作：しない 使用期限：201125 (開始日：191120)	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「しない」が点滅します。
3	    	＊浄水器交換案内 ▶案内動作：抽出停止 使用期限：201125 (開始日：191120)	  キーを押して「抽出停止」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4	   	＊浄水器交換案内 案内動作：抽出停止 ▶使用期限：201125 (開始日：191120)	  キーを押して「使用期限」に▶をあわせて、  キーを押すと、「年」が点滅します。
5	    	＊浄水器交換案内 案内動作：抽出停止 ▶使用期限：211201 (開始日：201125)	  キーを押して数字を変更し、  キーを押すか10キーで数字を直接入力すると、点滅位置が「月」に移動します。同様に「月」と「日」の数字を変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。「開始日」は自動で設定した日に変わります。
6		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

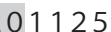
● 設定をおこなった日が「開始日」になります。浄水器を交換した日に上記設定をおこなってください。

● 順序3で「案内動作」を「警告表示」に設定した場合は、交換日になったときに休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。「案内動作」を「しない」に設定した場合は、この機能は動作しません。

コントローラーの使いかた (つづき)

冷却用タンクの冷却水の交換時期を設定する

〔例〕 冷却水の交換日を2021年12月1日として、交換日になったら休止モニターに警告を表示させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		* タイマーメニュー 浄水器交換案内 ▶ 冷却水交換案内 週間予約 休日予約	「タイマー」キーを押して「タイマーメニュー」画面を表示させ、「タイマー」キーまたは  キーを押して「冷却水交換案内」に▶をあわせませす。
2	  	* 冷却水交換案内 ▶ 案内動作：  使用期限：201125 (開始日：191120)	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「しない」が点滅します。
3	  	* 冷却水交換案内 ▶ 案内動作：  使用期限：201125 (開始日：191120)	 キーを押して「警告表示」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4	 	* 冷却水交換案内 案内動作：警告表示 ▶ 使用期限：  (開始日：191120)	 キーを押して「使用期限」に▶をあわせて、  キーを押すと、「年」が点滅します。
5	  	* 冷却水交換案内 案内動作：警告表示 ▶ 使用期限：211201 (開始日：201125)	 キーを押して数字を変更し、  キーを押すか10キーで数字を直接入力すると、点滅位置が「月」に移動します。同様に「月」と「日」の数字を変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。「開始日」は自動で設定した日に変わります。
6		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

- 設定をおこなった日が「開始日」になります。冷却水を交換した日に上記設定をおこなってください。
- 順序3で「案内動作」を「抽出停止」に設定した場合は、交換日になると休止表示をして運転を停止します。「案内動作」を「しない」に設定した場合は、この機能は動作しません。

週間予約を設定する

曜日ごとに運転時間を設定し、休日や夜間などに運転動作を自動的に停止させることができます。

運転停止になる運転動作は給水動作、抽出動作、湯の沸き上げ動作になります。

冷水機による冷却水を冷やす動作は「冷水機運転」を「する」に設定した場合は週間予約による運転停止中も動作しますが、「しない」に設定した場合は他の運転動作と同様に停止します。

運転再開したときにタンク内の水が常温であれば、湯の沸き上げは約30分程度、冷却水の製氷は約1時間半程度かかりますので、ご利用開始する時間にあわせて運転開始時間を設定してください。

〔例〕平日は8:00から20:00まで運転し、土曜日と日曜日を終日停止、冷水機の運転は継続させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		＊タイマーメニュー 浄水器交換案内 冷却水交換案内 ▶週間予約 休日予約	「タイマー」キーを押して「タイマーメニュー」画面を表示させ、「タイマー」キーまたは   キーを押して「週間予約」に▶をあわせませす。
2	    	＊週間予約 ▶予約：しない 冷水機運転：する	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「しない」が点滅します。
3	    	＊週間予約 ▶予約：する 冷水機運転：する	  キーを押して「する」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4	   	＊予約 開始 終了 ▶月-金 連続 ー**：** 月 連続 ー**：** 火 連続 ー**：** 水 連続 ー**：**	  キーを押して左記画面を表示させ、「月-金」に▶をあわせて  キーを押すと「連続」が点滅します。
5	    	＊予約 開始 終了 ▶月-金 08:00－20:00 月 08:00－20:00 火 08:00－20:00 水 08:00－20:00	  キーを押して数字を変更し、  キーを押すか10キーで数字を直接入力すると、点滅位置が左から右に移動しますので、時刻を変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。「月-金」を設定すると「月」～「金」は自動で修正されます。
6	    	＊予約 開始 終了 木 08:00－20:00 金 08:00－20:00 土 **：**ー連続停止 ▶ 日 **：**ー連続停止	同様に「土」の「終了」を「連続停止」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。「終了」を「連続停止」に設定すると「開始」は「**：**」に自動修正されます。同様に「日」の「終了」も設定し確定します。
7		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

●「開始」を「連続」に設定すると終日運転に、「終了」を「連続停止」に設定すると終日停止になります。

コントローラーの使いかた (つづき)

休日予約を設定する

連続して運転停止させたい期間を設定し、年末年始などの連休に運転を自動的に終日停止させることができます。運転停止になる運転動作は給水動作、抽出動作、湯の沸き上げ動作になります。

冷水機による冷却水を冷やす動作は「冷水機運転」を「する」に設定した場合は休日予約による運転停止中でも動作しますが、「しない」に設定した場合は他の運転動作と同様に停止します。

2日以上停止させた場合は、リンスボタンを押してリンス動作を行ってからご利用ください。

〔例〕 2020年12月28日から2021年1月4日まで運転を停止し、冷水器の運転も停止する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		＊タイマーメニュー 浄水器交換案内 冷却水交換案内 週間予約 ▶休日予約	「タイマー」キーを押して「タイマーメニュー」画面を表示させ、「タイマー」キーまたは  キーを押して「休日予約」に▶をあわせませす。
2	  	＊休日予約 ▶予約：  冷水機運転： 	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「しない」が点滅します。
3	  	＊休日予約 予約：  ▶冷水機運転： 	 キーを押して「する」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。同様に「冷水機運転」を「しない」に設定し確定します。
4	 	＊予約 開始 終了 ▶ 1回目  - 201001 2回目 201001 - 201001 3回目 201001 - 201001 4回目 201001 - 201001	 キーを押して左記画面を表示させ、「1回目」に▶をあわせて  キーを押すと「開始」の「年」が点滅します。
5	  	＊予約 開始 終了 ▶ 1回目 201228 - 2101  2回目 201001 - 201001 3回目 201001 - 201001 4回目 201001 - 201001	 キーを押して数字を変更し、  キーを押すか10キーで数字を直接入力すると、点滅位置が左から右に移動しますので、年月日を変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

●最大9回まで設定できます。

年末年始、ゴールデンウィーク、夏季連休など必要に応じてご利用ください。

リンスをする

手動でリンスをする場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		* リンス中 *	「リンス」キーを押すとリンスを実行し、左記画面が交互に表示されます。 リンスが終了すると待機画面に戻ります。
		熱湯が出ますので 注意してください	

- リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。
- リンス時の湯量・水量は下記「自動リンス」の湯量・水量設定にて調節できます。

自動で定期的にリンスをする場合

リンスを行うときの湯量・水量・時刻を設定します。

湯量と水量はそれぞれ2つの量が設定でき、画面の左側が粉末飲料を作るミキシング部のリンス量で画面の右側がお湯・冷水の抽出ノズルのリンス量です。

また、浄水器の項目に量を設定すると浄水器内の溜り水を入れ替えることもできます。約200mlで浄水器内の溜り水が入れ替わりますので、前記の湯量・水量の設定量とミキシング数に応じて必要な量を設定してください。

工場出荷値であればミキシング等のリンス量で浄水器内の溜り水も入れ替わりますので設定する必要はありません。

〔例〕ミキシング部が湯量150ml、水量40ml、湯・水用ノズルが湯量30ml、水量20mlのリンス量で、毎日11:30と22:00にリンスをするように設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		* タイマーメニュー ▶ 自動リンス とろみリンス 沸騰制御 現在時刻	「タイマー」キーを押して「タイマーメニュー」画面を表示させ、「タイマー」キーまたは  キーを押して「自動リンス」に▶をあわせませす。 ※キーを繰り返し押すことで画面の表示メニューが切り替わります。
2	  	* 自動リンス ▶ リンス：しない 湯量：130ml／ 10ml湯 水量： 20ml／ 10ml水 浄水器： 0ml	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「しない」が点滅します。
3	  	* 自動リンス ▶ リンス：する 湯量：130ml／ 10ml湯 水量： 20ml／ 10ml水 浄水器： 0ml	 キーを押して「する」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4	 	* 自動リンス リンス：する ▶ 湯量：130ml／ 10ml湯 水量： 20ml／ 10ml水 浄水器： 0ml	 キーを押して「湯量」に▶をあわせて、  キーを押すと、「130」mlが点滅します。
5	  	* 自動リンス リンス：する ▶ 湯量：150ml／ 10ml湯 水量： 20ml／ 10ml水 浄水器： 0ml	10キーで直接入力するか  キーで数値を「150」mlに変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。

コントローラーの使いかた (つづき)

自動で定期的にリンスをする場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
6	    	*自動リンス リンス：する ▶湯量：150ml／ 30ml湯 水量： 40ml／ 20ml水 浄水器： 0ml	手順4～5と同様に「湯」、「水量」、「水」を変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
7	   	*リンス時間（毎日） 1回目：07：00 2回目：しない 3回目：しない 4回目：しない	☐ キーを押すと左記画面が表示され、「毎日」が点滅します。 （ここで ☐ キーを押すと、曜日を変更できます。）
8	   	*リンス時間（毎日） ▶1回目：07：00 2回目：しない 3回目：しない 4回目：しない	☐ キーを押して「1回目」に▶をあわせて、さらに ☐ キーを押すと「時」が点滅します。
9	    	*リンス時間（毎日） ▶1回目：11：30 2回目：しない 3回目：しない 4回目：しない	☐ ☐ キーを押して数字を変更し、 ☐ キーを押すか 10キーで数字を直接入力すると、点滅位置が「分」に移動します。同様に数字を変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
10	    	*リンス時間（毎日） 1回目：11：30 ▶2回目：22：00 3回目：しない 4回目：しない	☐ キーを押して「2回目」に▶をあわせて、 手順8～9と同様に時刻を変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
11		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

- 順序3で「リンス」を「週間予約同期」に設定すると、「週間予約」（27ページ参照）で設定した終了時刻にリンスをおこないます。
 「リンス」を「週間予約同期」に設定し、「週間予約」を「しない」に設定した場合はリンスをおこないません。
- リンス中の動作音（警告音）は消すことができます。（34ページ参照）

とろみ水の抽出路のリンス条件を設定する

とろみ水は粘度があるため、抽出路は定期的なリンスが必要です。

とろみ水抽出路のリンスは使用状況に応じて条件を設定することができます。

リンス量は自動リンスで設定された量で、リンス動作を2回おこないます。

「開始」：リンスを「手動」でおこなうか、「自動」おこなうかを設定します。（「手動」でのご利用をお勧めします）

「自動」に設定した場合は「回数」「時間」で設定した条件になると30秒後にリンスを開始します。

カップやまとも取り容器が残っていると、リンス水が飲料に混ざってしまいますので注意してください。

「回数」：リンスをおこなう抽出回数を設定します。設定した回数を抽出したときにリンス動作になります。

「時間」：リンスをおこなう放置時間を設定します。設定した間に抽出されないときにリンス動作になります。

〔例〕リンスする抽出回数を10回、放置時間を1時間に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		＊タイマーメニュー 自動リンス ▶とろみリンス 沸騰制御 現在時刻	「タイマー」キーを押して「タイマーメニュー」画面を表示させ、「タイマー」キーまたは   キーを押して「とろみリンス」に▶をあわせませ。 ※キーを繰り返し押すことで画面の表示メニューが切り替わります。
2	    	＊とろみリンス 開始：手動 ▶回数： 5回 時間： 5分	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。   キーを押して「回数」に▶をあわせ、  キーを押すと回数が点滅します。
3	    	＊とろみリンス 開始：手動 ▶回数： 10回 時間： 5分	10キーで直接入力するか   キーで数値を「10」回に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4	    	＊とろみリンス 開始：手動 回数： 10回 ▶時間： 60分	手順2～3と同様に「時間」を「60」分に変更し「決定」キーを押して設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

● リンス中の動作音（警告音）は消すことができます。（34ページ参照）

コントローラーの使いかた (つづき)

定期的に沸騰させる

お昼や休憩時間などの利用が多くなる時間帯などにあわせて、湯タンクのお湯を沸騰させることができます。

〔例〕 毎日 11:55 に沸騰させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		* タイマーメニュー 自動リンス とりみリンス ▶ 沸騰制御 現在時刻	「タイマー」キーを押して「タイマーメニュー」画面を表示させ、「タイマー」キーまたは  キーを押して「沸騰制御」に▶をあわせます。 ※キーを繰り返し押すことで画面の表示メニューが切り替わります。
2	  	* 沸騰制御 ▶ 沸騰: しない 1 回目: しない 2 回目: しない 3 回目: しない	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「しない」が点滅します。
3	  	* 沸騰制御 ▶ 沸騰: する 1 回目: しない 2 回目: しない 3 回目: しない	 キーを押して「する」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4	 	* 沸騰制御 沸騰: する ▶ 1 回目: しない 2 回目: しない 3 回目: しない	 キーを押して「1 回目」に▶をあわせて、  キーを押すと「しない」が点滅します。
5	  	* 沸騰制御 沸騰: する ▶ 1 回目: 11: 55 2 回目: しない 3 回目: しない	 キーを押して数字を変更し、  キーを押すか 10 キーで数字を直接入力すると、点滅位置が「分」に移動します。同様に数字を変更し「11: 55」にして「決定」キーを押して設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

- 1日に最大3回まで設定できます。
- 沸騰中の動作音（警告音）は消すことができます。（34ページ参照）

現在時刻を合わせる

〔例〕 2020年11月16日 14:00に合わせる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		＊タイマーメニュー 自動リンス とろみリンス 沸騰制御 ▶現在時刻	「タイマー」キーを押して「タイマーメニュー」画面を表示させ、「タイマー」キーまたは  キーを押して「現在時刻」に▶をあわせませす。 ※キーを繰り返し押すことで画面の表示メニューが切り替わります。
2	  	20-11-11 (水) 1:01	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され「年」が点滅します。
3	  	20-11-16 (月) 14:00	 キーを押して数字を変更し、  キーを押すか10キーで数字を直接入力すると、点滅位置が「月」に移動します。同様に各項目を変更して「決定」キーを押して設定を確定します。(曜日は自動修正されます)
4		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

お手入れ時間をお知らせする

毎日のお手入れを忘れないように、設定時間になったら飲料ボタンのランプを消して抽出動作ができないようにさせることができます。

〔例〕 毎日14:00に抽出動作を停止しお手入れをする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		＊タイマーメニュー ▶お手入れ時間	「タイマー」キーを押して「タイマーメニュー」画面を表示させ、「タイマー」キーまたは  キーを押して「お手入れ時間」に▶をあわせませす。 ※キーを繰り返し押すことで画面の表示メニューが切り替わります。
2	  	＊お手入れ時間 ▶毎日: しない	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「しない」が点滅します。
3	  	＊お手入れ時間 ▶毎日: 14:00	 キーを押して数字を変更し、  キーを押すか10キーで数字を直接入力すると、点滅位置が「分」に移動します。同様に数字を変更し「14:00」にして「決定」キーを押して設定を確定します。
4		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

コントローラーの使いかた (つづき)

休止や故障の履歴を見る

[例] 故障履歴を見る。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		* 休止・故障メニュー 休止履歴 ▶ 故障履歴	「休止・故障」キーを押して「休止・故障メニュー」画面を表示させ、   キーを押して「故障履歴」に▶をあわせます。
2	    	* 故障履歴 1. 20-11-11 19:07 湯センサー開放	「選択」キーまたは  キーを押すと故障履歴が表示され、   キーを繰り返し押すと、最新の内容の20項目が新しいものから順次表示されます。画面内容は上段に履歴番号と故障日時、下段に故障内容の表示となっています。
		* 故障履歴 1. 20-12-24 21:30 電池異常	
3		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

● 休止内容は下記項目を表示します。

- ・湯タンク低水位
- ・湯温低い
- ・水温高い
- ・週間予約休止中
- ・休日予約休止中
- ・抽出時間帯休止中
- ・湯タンク排水中
- ・冷却準備中
- ・浄水器交換時期
- ・電源遮断
- ・電源復帰
- ・湯断水
- ・水断水
- ・冷却水なし
- ・冷却水交換時期
- ・排水タンク満水（排水タンク使用時）
- ・省エネ運転中
- ・学習省エネ運転中

● 故障内容は下記項目を表示します。修理依頼時に内容をご連絡ください。

- ・時計異常
- ・メモリ異常
- ・電池異常
- ・湯センサー開放
- ・湯センサー短絡
- ・水センサー開放
- ・漏水を検知
- ・IBCセンサー異常
- ・冷水機異常
- ・ディストリビューター異常
- ・基板間通信異常
- ・加温ユニット異常
- ・水センサー短絡

給水方式を設定する

[例] 製品を水道直結で使用する場合。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		* 機能メニュー ▶ 給水方式 動作音 湯温 パネルボタン待機時設定	「機能」キーを押して「機能メニュー」画面を表示させ、   キーを押して「故障履歴」に▶をあわせます。
2	    	* 給水方式 ▶ 給水方式：下部タンク	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「下部タンク」が点滅します。
3	    	* 給水方式 ▶ 給水方式：水道直結	  キーを押して「水道直結」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

動作音を設定する

[例] 沸騰中の動作音を消す。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		＊機能メニュー 給水方式 ▶動作音 湯温 パネルボタン待機時設定	「機能」キーを押して「機能メニュー」画面を表示させ、   キーを押して「動作音」に▶をあわせませす。
2	    	＊動作音 操作音 : する 抽出音 : する リンス動作音 : する ▶沸騰動作音 : する	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。   キーを押して「沸騰動作音」に▶をあわせ、  キーを押すと「する」が点滅します。
3	    	＊動作音 操作音 : する 抽出音 : する リンス動作音 : する ▶沸騰動作音 : しない	  キーを押して「しない」に変更し、 「決定」キーを押して設定を確定します。
4		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

●下記の各動作音の有無を設定できます。

コントローラーの操作音／抽出時のブザー音／リンス時のブザー音／沸騰動作時のブザー音

お湯の沸き上げ温度を設定する

[例] お湯の沸き上げ温度を90℃に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		＊機能メニュー 給水方式 動作音 ▶湯温 パネルボタン待機時設定	「機能」キーを押して「機能メニュー」画面を表示させ、   キーを押して「湯温」に▶をあわせませす。
2	    	＊湯温 ▶湯温 : 95℃	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「95」℃が点滅します。
3	    	＊湯温 ▶湯温 : 90℃	10キーで直接入力するか   キーで数値を「90」℃に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

コントローラーの使いかた (つづき)

とろみボタン、まとめどりボタンの待機状態を設定する

[例] まとめどりボタンの待機状態（優先状態）をまとめ取りに設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*機能メニュー 給水方式 動作音 湯温 ▶パネルボタン待機時設定	「機能」キーを押して「機能メニュー」画面を表示させ、   キーを押して「パネルボタン待機時設定」に ▶をあわせませす。
2	    	*パネルボタン待機時設定 とろみ：あり ▶まとめ：1杯	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。   キーを押して「まとめ」に ▶をあわせ、  キーを押すと「1杯」が点滅します。
3	    	*パネルボタン待機時設定 とろみ：あり ▶まとめ：まとめ	  キーを押して「まとめ」に変更し、 「決定」キーを押して設定を確定します。
4		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

とろみ水と粉末飲料の抽出順序を設定する

[例] 最初にとろみ水を抽出して、後から粉末飲料を抽出するように設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*機能メニュー ▶抽出順序 まとめどり連続回数 バージョンチェック	「機能」キーを押して「機能メニュー」画面を表示させ、   キーを押して「抽出順序」に▶をあわせませす。 ※キーを繰り返し押すことで画面の表示メニューが切り替わります。
2	    	*抽出順序 ▶順序：同時	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、  キーを押すと「同時」が点滅します。 
3	    	*抽出順序 ▶順序：とろみ→飲料	  キーを押して「とろみ→飲料」に変更し、 「決定」キーを押して設定を確定します。
4		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

- 抽出順序を変えることでとろみ水と粉末飲料の混ざり具合が変化します。とろみ剤の特性に合わせて変更してください。
- 「同時」は抽出を完全に同時するものではなく抽出時間を少し短くする抽出で、抽出順序は最初に粉末飲料を抽出して、後からとろみ水を抽出します。

まとめどりの量(杯数)を設定する

[例] ボタン5のまとめどりで抽出したときの量を、薄いとろみの飲料は3杯分、中間のとろみの飲料は10杯分、濃いとろみの飲料は5杯分、とろみなしの粉末飲料は7杯分を抽出するように設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*機能メニュー 抽出順序 ▶まとめどり連続回数 バージョンチェック	「機能」キーを押して「機能メニュー」画面を表示させ、  キーを押して「まとめどり連続回数」に▶をあわせませす。※キーを繰り返し押すことで画面の表示メニューが切り替わります。
2	  	*連続回数 ボタン1 薄め 中間 濃い なし 9回 9回 9回 9回	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され、ボタン「1」が点滅します。
3	 	*連続回数 ボタン5 薄め 中間 濃い なし 9回 9回 9回 9回	 キーを押してボタン「5」に変更し、  キーを押すと、薄め「9」回が点滅します。
4	  	*連続回数 ボタン5 薄め 中間 濃い なし 3回 10回 5回 7回	 キーを押して数字を変更するか10キーで数字を直接入力し、  キーを押すと点滅位置が右に移動します。薄め「3」回、中間「10」回、濃い「5」回、なし「7」回に数字を変更して「決定」キーを押して設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

- 1回に設定すると、まとめどり抽出をしても1杯取りとしてご利用いただけます。
まとめどりをご利用にならないときは、抽出間違い防止のため各項目を1回に設定してください。

コントローラーの使いかた (つづき)

適温になっていないが抽出する

お湯や冷水の温度が適温（抽出可能温度）に達していないときや、「週間予約」「休日予約」「学習省エネ運転」などの休止中などで飲料が抽出できないときに飲料を抽出したい場合には、次の操作を行ってください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマー一時解除* 変更は「選択」 終りは「終了」	「タイマー一時解除」キーを押して左記画面を表示させます。
2		タイマー運転 「選択」で選んで 「決定」を押す	「選択」キーを押すと左記画面が表示され、「タイマー運転」が点滅します。
3	 	タイマー一時解除 「選択」で選んで 「決定」を押す	「選択」キーを押して「タイマー一時解除」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
4		待機画面に戻ります。	「終了」キーを押すと設定完了です。

- 通常の運転状態に戻すには、順序3で「通常運転」に設定してください。
- 「週間予約」「休日予約」の休止条件で休止を一時解除した場合、「週間予約」「休日予約」で設定した終了時刻または終了日を過ぎると、一時解除は自動的にキャンセルされます。

運転モードを切り替える

〔例〕「通常運転」に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		通常運転	「省エネ」キーを押して「通常運転」を表示させます。
2	—	待機画面に戻ります。	自動で待機画面に戻り設定完了です。

- 運転モードは「通常運転」「エコモード運転」「学習省エネ運転」の3種類があります。
 - 「通常運転」
お湯の沸き上げと冷却水の冷却を常におこなう運転モードです。
 - 「エコモード運転」
過去4週間の使用状況を学習し、使用されなかった時間帯のお湯の沸き上げ温度を低めにして電力消費の多いお湯の沸き上げ運転を抑制し、冷却水の冷却は常におこなう運転モードです。
「エコモード運転」に設定されているときは、待機画面に「エコ」マークが表示されます。
 - 「学習省エネ運転」
過去4週間の使用状況を学習し、使用されなかった時間帯はお湯の沸き上げと冷却水の冷却を停止して、使用された時間帯もお湯の沸き上げ温度を低めにし、さらに冷却水の冷却温度も高めにした運転をおこない、電力消費を積極的に抑制します。ただし運転停止時間帯は、COLD飲料や冷水は冷却水が常温になっても常に抽出できますが、HOT飲料やお湯は適温（抽出可能温度）より低くなると抽出できなくなります。学習状況により運転停止時間帯が長い場合は、学習された利用時間帯になるまで抽出できませんのでご注意ください。
「学習省エネ運転」に設定されているときは、待機画面に「学習」マークが表示されます。
- 「エコモード運転」や「学習省エネ運転」でご利用の場合は、飲料の温度がぬるくなる場合があります。

お手入れ

(つづく)

警告

部品の取り付け、取りはずしおよび
お手入れするときは、電源スイッチ
を切る

感電やけがの原因になります。



お手入れするときなど、本体各部に
直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

部品を取りはずし洗浄するとき

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。
高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因に
なります。

汚れが落ちにくいとき

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで
擦り洗いし、水道水で洗剤を洗い流してください。

原料容器やミキシングボールを着脱するとき

原料容器やミキシングボールを着脱するときは、
原料容器の蓋についているキャップを原料容器の
先端にかぶせて静かに取り扱ってください。

お手入れが終わったら

部品をもとの位置に取り付け、電源スイッチを
入れてご使用ください。

お手入れ時期の目安と手順

お手入れの時期と手順は下図の順番でおこないます。

お手入れ時期は、標準的な使用条件での目安です。ご利用状況に応じてお手入れ時期を見直してください。

順番が違うと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは逆の手順でおこなってください。

毎日のお手入れ … ①②③とリンスキーによるリンス洗浄

月に一度のお手入れ … ⑧と置台の排水受けの排水口

週に一度のお手入れ … ④⑤⑥⑦と湯タンクの排水

年に一度のお手入れ … 冷却用タンクの水の交換

① ところみ用ミキシングボール

※取手に穴あり

※右から2番目が指定位置です。
異なる場所に取り付けると
正常に動作できなくなります。

② 集合ロート

③ 排水皿

④ ミキシングボール

※取手に穴なし

※ところみ用ミキシングボールと
間違えないでください。

⑤ 原料シュート 4個

原料飛散防止ガード 1個
（ところみ用）

※洗浄後は十分乾燥してください。

⑥ カップステーション/スノコ

⑦ フィルター（奥側）

※フィルターが汚れて
いると機構部の換気
が不十分となり、
動作不良や故障の
原因となります。

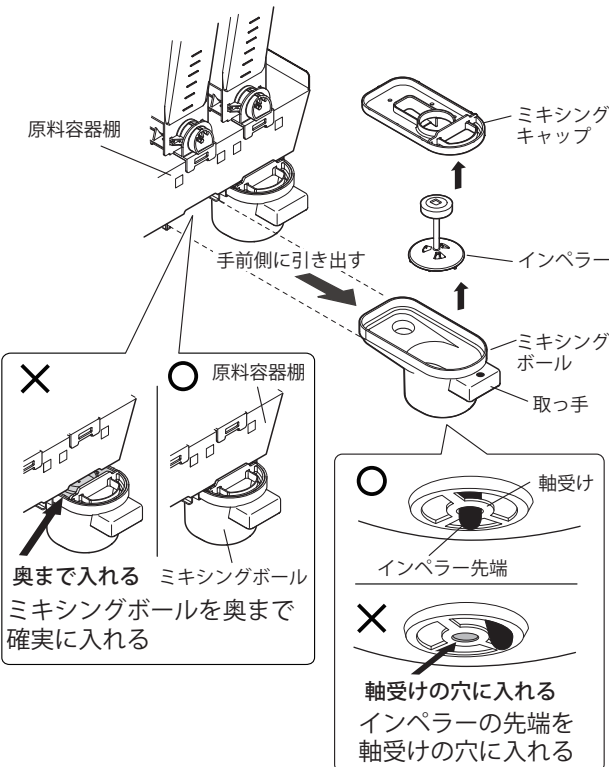
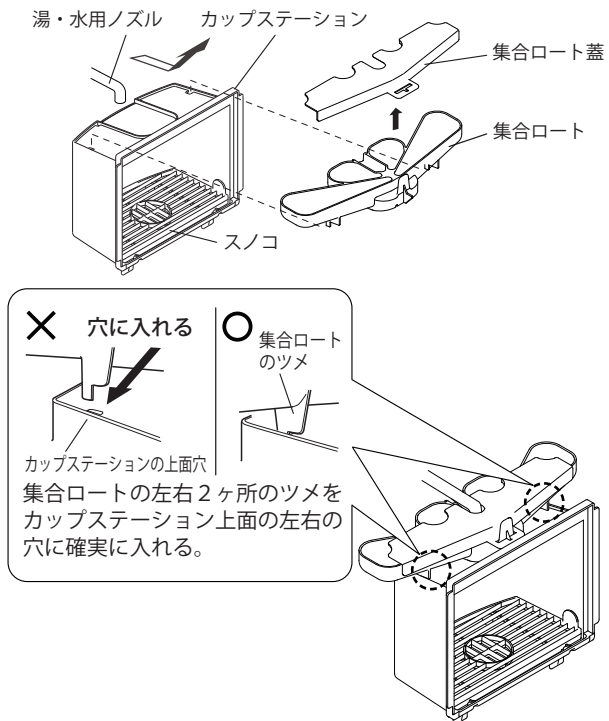
⑧ 原料容器

※洗浄後は十分乾燥してください。

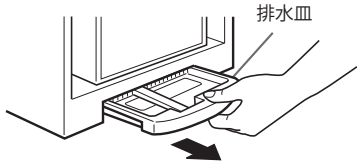
お手入れ (つづき)

毎日のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。
機械内外のホコリや汚れは、きれいな布でふき取ります。

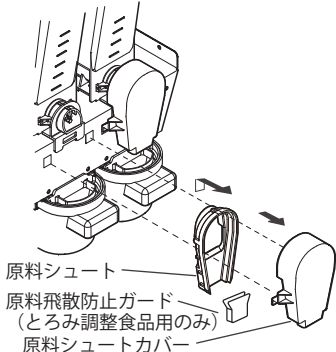
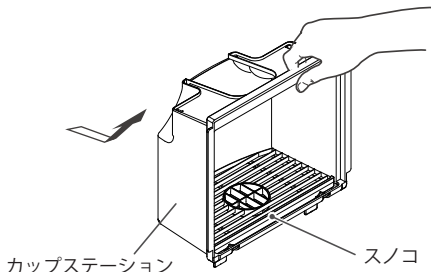
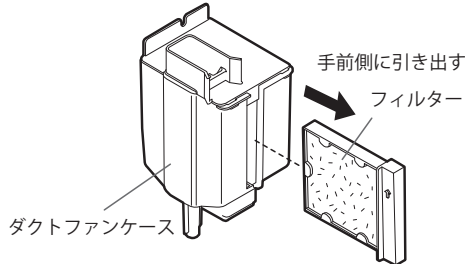
手順	部 品	お手入れのしかた
—	ミキシングボール 集 合 ロ ー ト	コントローラーの「リンス」キーを押して抽出路を熱湯ですすぐ動作をしてください。 ※このリンス動作は1日に最大4回まで自動で定期的におこなうことができます。 自動リンスの設定は28ページを参照してください。
①	とろみ用 ミキシングボール	ミキシングボール前側の取っ手を持って手前に引いてはずし、ミキシングキャップとインペラーを取りはずします。 洗浄した後、水気をよく切り、インペラーの先端をミキシングボールの軸受けの穴に入れて組み合わせ、ミキシングキャップをはめ込み、インペラーがスムーズに回転することを確認してから原料容器棚に奥まで確実に取り付けてください。 ※原料容器の先端にキャップを取り付けておこなうと、原料こぼれが防げます。(41ページ手順⑧参照) ※インペラーの先端が軸受けの穴に挿入されていないと、動作不良や故障の原因となります。 ※ミキシングキャップは浮くことがないように、ミキシングボールに確実ににはめ込んでください。 ※ミキシングボールが原料容器棚に奥まで挿入されていないと、動作不良や故障の原因となります。 
②	集 合 ロ ー ト	カップステーションを手前側にスライドさせ、集合ロートを取りはずします。 洗浄した後、水気をよく切り、集合ロートと集合ロート蓋を組み合わせ、はずしたときと逆の手順でカップステーションの上に取り付けてください。 ※集合ロート蓋は、浮くことがないように確実に取り付けてください。 ※集合ロートの左右2ヶ所のツメがカップステーション上面の左右の穴に確実ににはめ込んでください。集合ロートが確実に取り付けられていないと、抽出した飲料が漏れ、動作不良や故障の原因となります。 

毎日のお手入れ (つづき)

手順	部 品	お手入れのしかた
③	排水皿	本体下部から手前に引き出してはずしてください。 洗浄した後、水気をよく切り、奥に突き当たるまで確実にに入れてください。 ※奥まで挿入されていないと、排水が漏れ漏水や故障の原因となります。 

週に一度のお手入れ

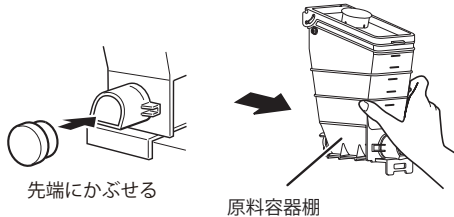
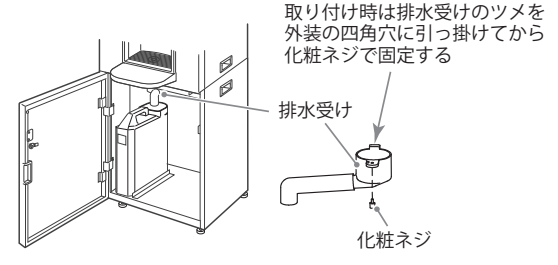
手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
④	ミキシングボール	とろみ用ミキシングボールと同様にミキシングボール前側の取っ手を持って手前に引いてはずし、ミキシングキャップとインペラーを取りはずします。(39ページ手順①参照) 洗浄した後、水気をよく切り、インペラーの先端をミキシングボールの軸受けの穴に入れて組み合わせ、ミキシングキャップをはめ込み、インペラーがスムーズに回転することを確認してから原料容器棚に奥まで確実に取り付けてください。
⑤	原料シュート 原料飛散防止ガード	上に軽く持ち上げてから、手前にはずし、原料シュートと原料シュートカバーを分解してください。 とろみ調整食品用は原料飛散防止ガードもはずします。 洗浄した後、水気をよく切り、十分に乾燥させてから取り付けてください。 ※原料シュートは表裏を正しく確実に取り付けてください。 原料シュートが確実に取り付けられていないと、原料容器から吐出した原料が漏れ、動作不良や故障の原因となります。 ※水分が残っていると原料が内部で固着して、動作不良や故障の原因となります。 
⑥	カップステーション スノコ	手前側にスライドさせ、集合ロートと一緒にはずしてください。 洗浄した後、水気をよく切り、取り付けてください。 
⑦	フィルター	フィルターを手前に引き出して、付属のフィルターと交換してください。 
—	湯タンク	湯排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。(14ページ参照) ※自動的に湯タンクの水を入れ替える機能が設定してある場合は必要ありません。 詳しくは販売店へお問い合わせください。

お手入れ (つづき)

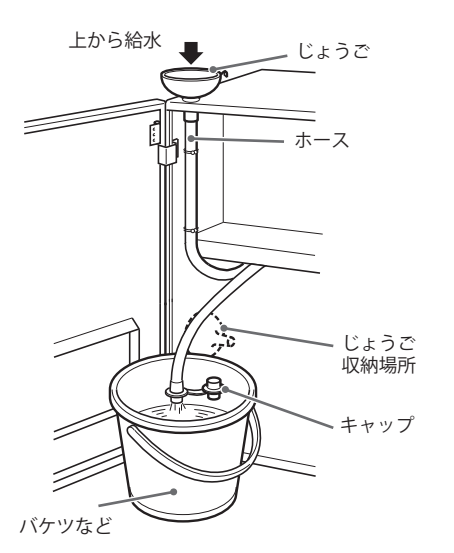
月に一度のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
⑧	原 料 容 器	原料シュートをはずしてから、キャップを先端にかぶせてから手前にはずします。洗浄した後、水気をよく切り、十分に乾燥させてから取り付けてください。 ※先端にキャップを取り付けておこなうと、原料こぼれが防げます。 ※内部に水分が残っていると原料が内部で固着して、動作不良や故障の原因となります。  先端にかぶせる 原料容器棚
一	置 台 排 水 受 け	置台上部の排水受けがゴミなどで詰まることがあります。化粧ネジ(1本)を取り、排水受けをはずして点検してください。 ※ゴミなどが詰まっているときは、清掃してください。 ※清掃、洗浄後は確実に取り付けてください。 確実に取り付けられていないと、廃液が漏れてしまいます。  排水受け 化粧ネジ 取り付け時は排水受けのツメを外装の四角穴に引っ掛けてから化粧ネジで固定する

年に一度のお手入れ

冷却用タンクの冷却水の交換をおこないます。

手 順	お手入れのしかた	
排 水 方 法	キャップをはめたまま本体からホースをはずして、バケツなどの排水する容器にホースの先端を入れてから、キャップをはずして排水します。 排水が終わったら、キャップをはめて、ホースを本体にセットしてください。 ※冷却水は最大で約5Lです。 ※こぼさないように気を付けてください。	
給 水 方 法	本体上部中央のネジをはずし、上面板をはずします。ホースを本体にセットしたままキャップをはずし、上面の左手前側にある穴からじょうごを入れて、ホースの先端に差し込み、上から給水をします。タンクが満水になり、本体底部の排水皿に水があふれてきたら給水完了です。 じょうごをはずし、上面板をネジで固定し、ホースにキャップをはめてください。 ※給水する水はろ過されていない水道水を使用してください。 ※水道水の硬度が高い地域では、異常冷却となり、製品が停止する場合があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。	

別売部品

この製品に使用できる下記別売部品があります。
詳しくは販売店にお問い合わせください。

カップホルダー（MTC-101）

カップを収納してご利用の際に引き出して使用するための部品です。
4種類のカップサイズに対応し、製品の左右どちらにも取り付けられます。

カップ置台（COD-01）

カップを置くための台です。
抽出後にミルクなどを入れたりするときに便利です。

セーフティドア（SDM-1046）

抽出口に取り付ける扉です。
飲料抽出中やリンス中のやけど防止などに役立ちます。

ステンレススノコ（SNK-H13/H40）

抽出口のステンレス製のスノコです。
汚れにくくなり、洗浄が楽になり、食器洗浄機でも洗浄可能です。
高さが13mmと40mmの2種類あります。

漏水検知装置（RKT-25）〔D/P Aタイプ用〕

漏水センサー・外部追加の電磁弁・ドレンパンのセットで、
水漏れをセンサーが検知して、製品への給水や飲料の抽出を
停止して水漏れの拡大を防ぎます。

ドレンパン（RKT-01P）〔PB/Tタイプ用〕

製品の下に敷き、床を汚さないようにするための部品です。
大きさは524mm×574mmで、深さは約20mmです。

漏水センサー（RKT-03P/04P）〔PB/Tタイプ用〕

ドレンパンとセットで使用し、水漏れをセンサーが検知して、
製品への給水や飲料の抽出を停止して水漏れの拡大を防ぎます。

水タンク台車（スロープ付/スロープ無）〔Tタイプ用〕

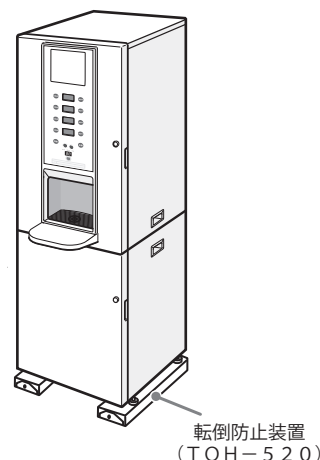
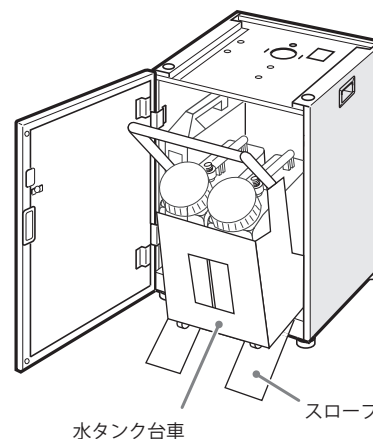
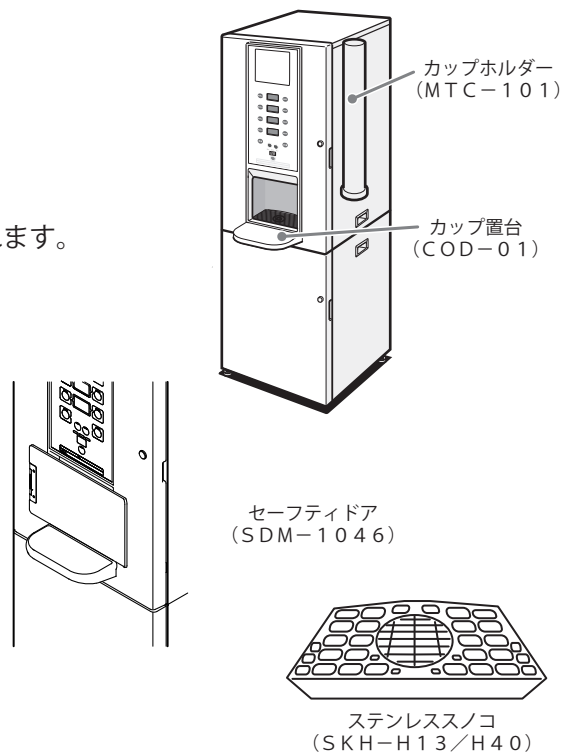
置台の水タンクの運搬が便利になり、そのまま置台にセットできます。

転倒防止装置（TOH-520）〔PA/PB/Tタイプ用〕

地震のときに製品が転倒しにくくなります。
※転倒しないことを保証するものではありません。

浄水器カートリッジ（水フィルター）

水道水に含まれる臭いを除去し、雑菌繁殖を防ぎます。
性能を維持するために定期的な交換が必要です。
詳しくは販売店にお問い合わせください。



修理サービスを依頼する前に

こんなときは	調べるところ	処置のしかた																												
準備中が点灯	●コントローラーに休止モニターが表示されていませんか？	●休止モニターの表示に従ってください。 ●故障時や異常時には前面のデジタル表示部に下記故障メッセージが表示されます。 <table><tr><td>水センサー開放</td><td>F0 (F0)</td><td>漏 水</td><td>F7 (F7)</td></tr><tr><td>水センサー短絡</td><td>F1 (F1)</td><td>電池異常</td><td>F8 (F8)</td></tr><tr><td>IBC センサー異常</td><td>F2 (F2)</td><td>コイン信号異常</td><td>F9 (F9)</td></tr><tr><td>冷水機異常</td><td>F3 (F3)</td><td>時計異常</td><td>FA (FA)</td></tr><tr><td>湯センサー開放</td><td>F4 (F4)</td><td>メモリー異常</td><td>Fb (Fb)</td></tr><tr><td>湯センサー短絡</td><td>F5 (F5)</td><td>ディストリビューター異常</td><td>Fd (Fd)</td></tr><tr><td>加温異常</td><td>F6 (F6)</td><td>基板間通信異常</td><td>FF (FF)</td></tr></table>	水センサー開放	F0 (F0)	漏 水	F7 (F7)	水センサー短絡	F1 (F1)	電池異常	F8 (F8)	IBC センサー異常	F2 (F2)	コイン信号異常	F9 (F9)	冷水機異常	F3 (F3)	時計異常	FA (FA)	湯センサー開放	F4 (F4)	メモリー異常	Fb (Fb)	湯センサー短絡	F5 (F5)	ディストリビューター異常	Fd (Fd)	加温異常	F6 (F6)	基板間通信異常	FF (FF)
	水センサー開放	F0 (F0)	漏 水	F7 (F7)																										
水センサー短絡	F1 (F1)	電池異常	F8 (F8)																											
IBC センサー異常	F2 (F2)	コイン信号異常	F9 (F9)																											
冷水機異常	F3 (F3)	時計異常	FA (FA)																											
湯センサー開放	F4 (F4)	メモリー異常	Fb (Fb)																											
湯センサー短絡	F5 (F5)	ディストリビューター異常	Fd (Fd)																											
加温異常	F6 (F6)	基板間通信異常	FF (FF)																											
●「学習省エネ運転」・「週間予約」・「休日予約」による休止中ではありませんか？	●運転再開までお待ちください。 コントローラーの「タイマー一時解除」キーで休止を一時解除することもできます。																													
断水ランプが点滅	●断水しているか、給水配管の止水栓が閉まっていますか？（水道直結タイプの場合）	●建屋の給水を確認し、給水配管の止水栓を開いてください。																												
	●置台の水タンクに水が十分に入っていますか？（下部給水タイプの場合）	●水を補給してください。																												
	●湯タンクの水位が低くありませんか？	●給水を確認して、コントローラーの「断水解除」ボタンを押してください。																												
	●冷却用タンクに水が十分に入っていますか？	●冷却用タンクに水を補充してください。																												
排水ランプが点滅	●置台の排水タンクが満水ではありませんか？	●排水タンクの水をすててください。																												
湯が沸かない 湯がぬるい	●「週間予約」や「休日予約」による休止中ではありませんか？	●運転再開までお待ちください。 コントローラーの「タイマー一時解除」キーで休止を一時解除することもできます。																												
	●「学習省エネ運転」や「エコモード運転」による湯タンク省エネ運転中ではありませんか？	●コントローラーの「タイマー一時解除」キーで休止を一時解除するか、前面の「沸上げ」ボタンを押すとお湯を沸き上げます。																												
	●飲料温度の設定が低くありませんか？	●好みの温度に設定してください。																												
	●湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？	●湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックをしっかりと閉めてください。																												
冷水の冷えがわるい	●本体背面の排気口がふさがっていませんか？	●壁などから離して通気を良くしてください。																												
	●直射日光が当たっていませんか？	●窓にブラインドなどをしてください。																												
	●近くに熱器具がありませんか？	●熱器具と離してください。																												
	●連続して多量の冷水を抽出しましたか？	●再び冷えるまでしばらくお待ちください。																												
	●「学習省エネ運転」による省エネ運転中か運転停止中ではありませんか？	●運転再開までお待ちください。 コントローラーの「タイマー一時解除」キーで休止を一時解除することもできます。																												
飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	●湯・水・原料の量は適切ですか？	●好みの味になるように再設定してください。																												
	●原料の種類を変えていませんか？	●指定の専用原料をご使用ください。																												
	●原料容器に原料が十分に入っていますか？	●原料を補給してください。																												
	●原料容器の出口がつまっていますか？	●湿気が多いと出口がつまることがあります。 つまりを取り除いてください。																												
	●原料容器に原料をつめすぎていませんか？	●原料をつめすぎると原料が固まり、出てこない場合があります。 原料を取り出して入れ直してください。																												
運転音が大きい	●機体が不安定ではありませんか？	●丈夫で平坦な場所に据えつけて、製品がグラグラしないように安定させてください。																												
	●製品が他の製品などに触れていませんか？	●他の製品から離してください。																												

仕 様

項 目		内 容			
製 品 寸 法		幅450mm×奥行500mm×高さ880mm（置台使用時1530mm）			
製 品 質 量		38kg（本体のみ）			
タ ン ク 容 量		湯タンク：5.6L、冷却水タンク：4.9L			
湯・冷 水 温 度		湯沸上げ温度：約95℃（80℃～98℃可能）、冷水温度：約4℃			
原 料 容 器		約800ml×4個			
給 水 口 口 径		G1／2A			
電 気 定 格	電 源	単相交流100V 50Hz／60Hz共用			
	消費電力	給茶部：1040W、冷水部：175W／190W			
表 示		LEDランプ			
加 熱 装 置	電熱装置	シーズ線ヒーター（1000W）	冷 却 装 置	圧 縮 機	完全密閉型
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール		凝 縮 器	プレートフィン付チューブ（強制空冷）
	安全装置	温度過昇防止器		冷 媒	フロンHFC-134a（70g）
付 属 品		温度調節 IBC（アイスバンクコントロール）			
付 属 品		取扱説明書（簡易版）、鍵、商品ラベル、商品ラベルセット、カップ置台、フィルター、排水皿排水皿エルボ、とりみ用ミキシングボール、集合ロート、まとめ取り用ピッチャー、泡立て器			

付属の商品ラベル、商品ラベルセットはご利用になる飲料を変更する場合に使用します。
15ページの飲料ボタンと原料容器の関係を見ながら、商品ラベルは前面板にセットされているラベルと交換し、商品ラベルセットは原料容器と原料容器棚後部のラベルに上から貼ってください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証期間

この製品の保証期間はご購入いただいた日から1年です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

43ページに従って調べていただき、異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

製 品 名	
形 名	HTC-1046LTR
お買い上げ日	年 月 日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に
お 客 様 情 報	ご住所、お名前、電話番号
販 売 店 情 報	お買い上げの販売店名を記入しておくとう便利です。
	TEL.

■保証期間が過ぎている場合

保証期間経過後に修理対応が可能な場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。
お買い上げの販売店にご相談ください。

■修理料金のしくみ

修理料金は部品代・技術料・出張料などで構成されています。
部品代：修理に使用した部品の料金です。
技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
出張料：技術者を派遣する料金です。

長年ご使用の自動お茶いれ機の点検を！					
このような症状はありませんか？	●ブレーカーがたびたび切れる。 ●電源コードや電源プラグに過熱や破損がある。 ●運転音が異常に大きい。 ●電源スイッチの動作が不確実。 ●その他の異常・故障がある。	▶	ご 使 用 止 中	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。	

⚠ 長期使用製品の安全に関するお願い

⚠ 長期使用製品の安全に関する表示

- 設計上の標準使用期間：7年（製造年：製造番号の上2桁が西暦年下2桁を表しています。）
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発煙・発火の事故に至る恐れがあります。
- 設計上の標準使用期間とは
運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件にもとづく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。
また、一般的な故障を保証するものではありません。
- 経年劣化とは
長期間に渡る使用や放置にともない生じる劣化をいいます。
標準的な使用条件と異なる場合や本来の使用目的以外や改造等で使用された場合は、短い期間で故障や経年劣化による発煙・発火の事故に至る恐れがあります。

■標準的な使用条件

区 分	項 目	条 件
環 境 条 件 (屋内使用)	電圧	交流100V
	周波数	50Hz／60Hz
	室温	1℃～35℃
	湿度	85%以下
負 荷 条 件	給水圧	0.1MPa～0.75MPa
	給水温度	1℃～30℃
	負荷	12時間／日 使用
使 用 条 件	1日使用杯数	100杯
	1ヶ月使用杯数	2000杯
	1年間使用杯数	24000杯

⚠ この自動お茶いれ機は長期使用安全のため 使用開始から10年で全運転を停止します

- この自動お茶いれ機は、使用開始時（設置して初めて電源を入れたとき）からタイマーによるカウントを開始し、10年経過した時点で全運転を停止（すべてランプ表示が消灯）する仕様になっています。
※電源を切っている間もタイマーのカウントは継続されます。
- 全運転を停止する90日前から、コントローラーの画面に停止までの残り日数を表示します。
お早めに販売店にご相談ください。

この製品の設計上の標準使用期間は7年となっております。
より安全にご使用いただくため、お早目の交換、メンテナンスをいただけますようお願いいたします。

